

I 魅力ある雇用をつくる

※事業費は決算ベース

I-1

事業名	産業プラザ運営事業		決算額	21,574 千円
			所管課	商工課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般 21,574 千円

[主な事業内容と成果]

(一社)産業サポート白河を産業プラザの指定管理者として指定し、企業訪問、関係機関とのネットワーク形成などの産業振興業務及び中小企業等在職者等に対する人材育成及び起業家支援等の各種事業を実施した。

事業名	事業成果
企業訪問・相談事業	・県南地域の企業を訪問し、企業情報を収集するとともに、各企業が抱える課題解決に向けた各種支援を行った。(合計:1,862件 うち来所相談件数:205件 訪問件数:1,200件 電話・メール等:457件)
取引あっせん事業	・地域内での企業間取引を活性化するため、取引の仲介を行った。(相談件数:40件 うち成功件数:34件、不成功:6件 継続中:0件)
人材育成事業	・しらかわものづくり講習会(全10講座27日間実施、のべ参加人数:96人) ・小学生向けものづくり体験事業、ロボットプログラミング教室の開催 ・生産性向上支援訓練(全3講座3日間実施、のべ参加人数:46人)
起業家支援事業	・インキュベーションマネジャーの資格を有する相談員による、起業・創業希望者への支援を行った。(セミナー、交流会の開催)



【講習会の様子】



【プログラミング教室】

事業名	小規模企業支援資金融資制度事業		決算額	457 千円
			所管課	商工課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般 457 千円
[主な事業内容と成果] 商工会議所・商工会の経営指導員による経営指導を原則6ヵ月以上受けているなど一定の要件を条件とし、日本政策金融公庫から資金を無担保・無保証人・低金利で融資を受けられる制度(小規模事業者経営改善資金制度)を利用した際、企業が負担する利子の一部を補填した事により地域企業の活性化を促進した。 ○小規模事業者経営改善資金利子補給補助金 (18件、457千円) <内訳> 白河商工会議所 8件 大信商工会 8件 表郷商工会 2件				

事業名	しらかわ地域ものづくり高度化・海外展開促進事業		決算額	26,353 千円				
			所管課	商工課				
財源内訳	国県	10,449 千円	市債	千円	その他	5,454 千円	一般	10,450 千円

[主な事業内容と成果]

産業サポート白河に委託し、しらかわ地域のものづくり企業が抱える経営課題等に対してきめ細やかな支援(伴走型支援)を行う体制を整備するとともに、地域の資源や産業の強みを活かした「ものづくり高度化」や「海外展開」などを促進した。

○経営改善指導事業

- ・企業訪問による情報収集、課題の抽出・整理

○しらかわ型5S推進事業

- ・参加企業:19社
- ・座学研修:全2回
(新型コロナウイルスの影響により、インストラクターによる企業訪問は自粛)

○産業技術高度化講習事業

- ・ものづくり講習会の実施 10講座 参加者延べ96人

○大規模見本市出展事業

- ・第25回機械要素技術展出展 出展社数:4社+産業サポート白河
(新型コロナウイルス感染症の影響により出展社が減少)



【大規模見本市出展事業】

事業名	企業立地奨励金事業		決算額	82,042 千円
			所管課	商工課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般 82,042 千円

[主な事業内容と成果]

○企業立地奨励金交付実績

(単位:千円)

区 分	件 数	交 付 金 額 (千円)
立 地 奨 励 金	4件	76,186
雇 用 奨 励 金	2件	3,950
工 業 用 水 道 奨 励 金	1件	487
環 境 整 備 奨 励 金	1件	1,419
合 計	8件(実企業数5件)	82,042

○交付要件

- ・工場等投下固定資本総額5,000万円以上
- ・工場等用地取得(借地)面積1,000㎡以上
- ・建築延床面積200㎡以上

I-2

事業名	UIJターン就活促進事業			決算額	239 千円
				所管課	商工課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	239 千円
【主な事業内容と成果】 地元企業の人材確保とともに、定住と就職の促進を図るため、首都圏でのイベント参加や大学訪問、UIJターン希望者が市内で面接を行う際の交通費の一部を補助した。 ○大学訪問・支援機関への広報活動 県内及び隣県等の大学や専門学校および移住・交流情報ガーデン、ふるさと福島就職情報センターなど支援機関に対し、市内企業の採用情報や交通費補助金について周知を図った。 ○交通費補助金 UIJターン希望者が市内で面接を行う際の交通費に対して補助金を交付した。(11件、101千円) ○LINEによる情報発信 市内企業の情報発信として、採用情報や企業紹介などを毎月発信した。また、イベント情報なども合わせて発信した。					

事業名	若者Uターン・地元定着促進事業			決算額	7,979 千円
				所管課	商工課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	4,030 千円一般	3,949 千円
【主な事業内容と成果】 (一社)産業サポート白河に委託し、企業情報の収集・発信を行い、新規顧客の開拓や若者の地元企業への就職を促進した。また、29年度から県南8町村とも連携し、定住自立圏の枠組みで人材不足対策対策や事業承継支援等を実施した。 ○地元企業の人材不足対策 ・企業データベース整備事業 「しらかわ企業データベース」により、しらかわ地域の企業情報を広く配信した。 (登録企業数:280社) デジタルサイネージを白河実業高校、塙工業高校に設置し、新しい情報発信の模索を行った。 (紹介動画企業数:19社1団体) ・インターンシップ受け入れ事業 相談員の企業訪問に同行するほか名刺交換の仕方などビジネスマナー要素を盛り込んで実施した。 (参加者数:1人) ○人材育成支援事業 ・新入社員研修 製造業に勤務する新入社員が基礎知識を学ぶ場の提供と、研修を通して人脈形成が図られることを目的に講座を開催した。 (参加人数:18人) ・新任管理者研修 製造業に勤務する新任管理者を対象に、部下とのコミュニケーション等のスキルアップ、対人関係改善、離職率の低下が図られることを目的に研修を実施した。(参加人数:12人)					



【デジタルサイネージ】

I-3

(再掲)

事業名	しらかわ地域ものづくり高度化・海外展開促進事業		決算額	26,353 千円
			所管課	商工課
財源内訳	国県	10,449 千円	市債	千円
			その他	5,454 千円
			一般	10,450 千円
[主な事業内容と成果] 産業サポート白河に委託し、しらかわ地域のものづくり企業が抱える経営課題等に対してきめ細やかな支援(伴走型支援)を行う体制を整備するとともに、地域の資源や産業の強みを活かした「ものづくり高度化」や「海外展開」などを促進した。 ○経営改善指導事業 ・企業訪問による情報収集、課題の抽出・整理 ○しらかわ型5S推進事業 ・参加企業:19社 ・座学研修:全2回 (新型コロナの影響により、インストラクターによる企業訪問は自粛) ○産業技術高度化講習事業 ・ものづくり講習会の実施 10講座 参加者延べ96人 ○大規模見本市出展事業 ・第25回機械要素技術展出展 出展社数:4社+産業サポート白河 (新型コロナウイルス感染症の影響により出展社が減少)				
				
			【大規模見本市出展事業】	

事業名	女性活躍推進に向けた多様な働き方実現事業		決算額	3,024 千円
			所管課	商工課
財源内訳	国県	1,512 千円	市債	千円
			その他	千円
			一般	1,512 千円

[主な事業内容と成果]

少子高齢化や人口減少を背景とした労働者不足の解消及びライフワークバランスの向上を図ることを目的に、子育てや在宅介護により働きたくても働けない女性などに対し新たな働き方として「クラウドソーシング」の活用を提案し推進するためのセミナーを開催した。

○R2年度実績

- ・第1回:クラウドソーシング認知・導入セミナー(10/28)
- ・第2回:在宅ワーク入門・実践講座STEP1(11/25、26)
- ・第3回:在宅ワーク入門・実践講座STEP2(12/15、16)
- ・クラウドコーチプログラム(オンライン上での支援を実施)



【認知・導入セミナー】



【実践講座】

講座	申込者	参加者数			当日欠席
		男	女	うち市内	
第1回	24人	8人	16人	17人	4人
第2回	11人	2人	9人	11人	3人
第3回	10人	3人	7人	9人	1人

※新型コロナウイルスの影響で参加人数に制限を設けて実施

事業名	コワーキングスペース「らくり」運営事業			決算額	5,809 千円			
				所管課	商工課			
財源内訳	国県	3,717 千円	市債	千円	その他	204 千円	一般	1,888 千円

【主な事業内容と成果】

市内での創業を促進するため、創業間もない方等に気軽に利用できるコワーキングスペースを提供した。
また、利用者には常駐するインキュベーションマネージャーが伴走型で支援することで市内での創業を推進した。

○利用状況(令和3年3月末時点)

・指定席0人、自由席6人

○起業セミナーの開催

先輩起業家を招いたセミナーを開催し、創業機運の醸成を図るとともに、利用者やセミナー参加者のマッチングを行い、新事業の促進を行った。

(1) 令和2年7月7日(火),14日(火),21日(火)開催
参加者:延べ28人

(2) 令和2年10月9日(金)開催
参加者:11人

(3) 令和2年11月27日(金)開催
参加者:10人



【コワーキングスペース外観】



【起業セミナーの様子】

事業名	中心市街地空き店舗対策事業		決算額	8,550 千円				
			所管課	まちづくり推進課				
財源内訳	国県	2,388 千円	市債	千円	その他	千円	一般	6,162 千円

【主な事業内容と成果】

中心市街地内の空き店舗を利活用することで集客を生み出し、商店街等の賑わい創出を図ることを目的に、賃借料及び改修費の一部を補助するもの。

○ 中心市街地賑わい集積促進事業（改修費補助） 2,000 千円

（単位：千円）

No	補助対象店舗	補助金額
1	複合商業施設ふくだまり	1,000
2	manomagica Nico(マーノマジカ ニコ)	500
3	Studio Nicotto(スタジオ ニコット)	500
合 計		2,000

○ 活力ある商店街支援事業（家賃補助） 6,550 千円

（単位：千円）

No	補助対象店舗	業種	補助金額	財 源 内 訳	
				県	市
1	Jelly Lash (ジェリー ラッシュ)	サービス業(美容店)	100		100
2	nail & eyelash lulu (ルル)	サービス業(美容店)	91		91
3	四季彩 柔	飲食業	140		140
4	からあげ屋 黒	飲食業	122	61	61
5	くいもんや 暖	飲食業	40	20	20
6	だいにゅ鍼灸整骨院	サービス業(整骨院)	448	214	234
7	ベル	小売業	308	153	155
8	日本料理 楓	飲食業	1,215	607	608
9	Detour(ディーター)	サービス業(美容店)	1,195	597	598
10	桜接骨院	サービス業(整骨院)	525	262	263
11	手打中華 かしま	飲食業	949	474	475
12	奥の角	飲食業	210		210
13	故郷だいこんぐ まるよし	飲食業	673		673
14	manomagica Nico(マーノマジカ ニコ)	サービス業(美容整骨)	192		192
15	お多幸	飲食業	210		210
16	Studio Nicotto(スタジオ ニコット)	サービス業(フォトスタジオ)	81		81
17	Melissa☆(メリッサ)	サービス業(アロマエステ)	51		51
合 計			6,550	2,388	4,162

【補助率】

	1年目	2年目	3年目	4・5年目	限 度 額
新規創業	10/12	7/12	4/12	2/12	年間300万円(月額25万円)
一般	8/12	6/12	4/12		年間240万円(月額20万円)

※4・5年目は平成30年度申請分まで該当。

対象：昼間の営業を主とする「小売業」、「飲食業」、「サービス業」

事業名	リノベーションまちづくり推進事業			決算額	3,300 千円
				所管課	まちづくり推進課
財源内訳	国県	1,650 千円	市債	千円	その他 千円
				千円	一般 1,650 千円
【主な事業内容と成果】 空き家や空き店舗などの遊休不動産を活用し、地域の課題解決や魅力向上を図るリノベーションまちづくりを推進することで、女性や若者など新たなまちづくりの担い手を育成し、民間活動による投資と雇用の創出を促し、まちなかの賑わい創出につなげることを目的に、セミナーとワークショップを開催した。 ○ 第1回公開講座「つくる時代からつかいこなす時代へ」ーリノベーションによる地域価値の再構築ー ・概要 「リノベーションまちづくり」について考えるセミナーを開催した。新型コロナウイルスの影響により首都圏において緊急事態宣言が発出されたことから、会場の人数を制限し、Zoomによるオンライン配信も行った。 ・開催日 令和3年1月12日(火) 午後6時～午後8時 ・会場 マイタウン白河 ・参加者数 66人(会場 31人、Zoom 35人) ・講師 大島 芳彦(㈱ブルースタジオ クリエイティブディレクター) ○ まち歩きワークショップ「まちのお宝さがし@白河」 ・概要 空間資源、人的資源、歴史的資源など様々な観点から見出される地域資源を「お宝」と称し、まち歩きを通して見出した地域資源をもとに中心市街地の新たな見立て・楽しみ方を見出すことを目的にワークショップ(WS)を開催した。またWSでの成果を一般の方に披露する、成果報告会を併せて開催した。 ・開催日 令和3年2月27日(土)・28日(日) ・会場 コミュニティカフェEMANON、マイタウン白河 ・参加者数 42人(WS 12人、成果報告会(聴講者) 30人) ・講師 大島 芳彦(㈱ブルースタジオ クリエイティブディレクター) 東海林 諭宣(㈱See Visions 代表取締役) 佐藤 哲也(ヘルベチカデザイン(㈱) 代表取締役)					



【セミナーの様子】



【まち歩きの様子】

事業名	人・農地プラン作成事業		決算額	1,000 千円												
			所管課	農政課												
財源内訳	国県	1,000 千円	市債	千円	その他	千円	一般	千円								
[主な事業内容と成果] 農業を取り巻く情勢は、高齢化や担い手不足、耕作放棄地の拡大など、地域農業を維持していくうえでの諸問題が顕在化している。 地域農業を維持していくため、抱えている諸問題について話し合い、農業の未来像を明確にする「人・農地プラン」の作成は、担い手への農地の集積・集約化を図ることが期待できる。 そのため、令和2年度については、未作成の52地域(59地域中)を対象にプランの作成を促し、3地域において作成した。 ○地図作成業務委託料:825千円 消耗品費:175千円 ○令和2年度にプランを作成した集落 <table><tr><th>集 落 名</th><th>面 積</th></tr><tr><td>双石集落</td><td>111.0ha</td></tr><tr><td>表郷中野集落</td><td>49.6ha</td></tr><tr><td>白坂皮籠集落</td><td>67.7ha</td></tr></table>									集 落 名	面 積	双石集落	111.0ha	表郷中野集落	49.6ha	白坂皮籠集落	67.7ha
集 落 名	面 積															
双石集落	111.0ha															
表郷中野集落	49.6ha															
白坂皮籠集落	67.7ha															

事業名	農業法人参入促進事業			69 千円	
				決算額	農政課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	69 千円
[主な事業内容と成果] 地域農業を維持していくためには、農業が抱えている課題(高齢化・担い手不足・耕作放棄地の増加)等を解消していく必要がある。課題解消に向けた取り組みの一つとして、最先端技術や、経営ノウハウを有した市外農業法人の参入促進を図ることは、地域の担い手となるばかりでなく、雇用の受け皿、栽培技術の提携、販路の共有など、地域農業への様々な効果が期待できる。令和2年度については、(株)みちのく白河農園(株式会社サラダボウル)の参入を促進し、令和2年10月28日、双石地権者組合・(株)みちのく白河農園・市との3者協定を締結した。 ○(株)サラダボウル現地視察旅費 34千円 ○調印式にかかる消耗品購入等 35千円 白河市双石地域における農業法人参入に関する 三者協定調印式 【三者協定調印式】					

事業名	農地中間管理事業		決算額	11,776 千円				
			所管課	農政課				
財源内訳	国県	11,568 千円	市債	千円	その他	200 千円	一般	8 千円

[主な事業内容と成果]

農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を進めるためには、担い手への農地利用の集積・集約化を加速させることが不可欠であることから、農地中間管理機構を通して農地を貸し付けた地域及び個人を支援するため、交付要件に該当する対象者に協力金を交付した。

(単位:件、a、千円)

協力金名	件数	面積	交付金額
地域集積協力金	1	4,207	9,255
経営転換協力金	11	1,542	2,313
合 計	12	5,749	11,568

事業名	しらかわ型農地利用集積推進事業			決算額	3,485 千円											
				所管課	農政課											
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	3,485 千円								
【主な事業内容と成果】 農地中間管理事業では、国補助として農地を貸し出した農業者に補助金を交付しているが、現在、農地を借り受け規模拡大を図る農業者に実質的な支援がないなかで、農業経営の規模拡大や農地集積・集約化が進められている。 そこで、平成28年度より農地中間管理機構利用推進のため、農地を借り受けた農業者に対し、市独自に5千円／10aを交付した。 (単位:件、a、千円) <table><tr><td>しらかわ型機構集積金</td><td>件数</td><td>面積</td><td>金額</td></tr><tr><td>合 計</td><td>23</td><td>6,969</td><td>3,485</td></tr></table>									しらかわ型機構集積金	件数	面積	金額	合 計	23	6,969	3,485
しらかわ型機構集積金	件数	面積	金額													
合 計	23	6,969	3,485													

事業名	環境保全型農業直接支払交付金事業		決算額	353 千円	
			所管課	農政課	
財源内訳	国県	273 千円	市債 千円	その他 千円	一般 80 千円
[主な事業内容と成果]					
有機農業や生物多様性の保全に効果の高い営農活動など、環境にやさしい農業に取り組む農業者組織に対し、支援を行った。					
○ 補助実績					
・ 補助件数		2件			
・ 補助金総額		353千円			
・ 補助金内訳					
内容	面積	補助額	備 考		
堆肥施用	137a	60千円	国 1/2 、 県 1/4 、 市 1/4		
有機農業	178a	213千円	国 1/2 、 県 1/4 、 市 1/4		
冬期湛水	99a	50千円	国 1/2 、 県 1/4 、 市 1/4		
推進交付金	－	30千円	国 定額補助		

事業名	耕畜連携・地域循環型農業推進事業			決算額	1,660 千円
				所管課	農政課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	1,660 千円
[主な事業内容と成果] 輸入飼料に依存しない安定した畜産経営を確立させるため、稲発酵粗飼料(WCS)を積極的に活用し、耕畜農家との連携による地域循環型農業を促進させ、さらなる経営の合理化を目指す畜産農家を支援した。 ○ 補助実績 ・ 助成額 WCSの購入1kgにつき5円 ・ 補助件数 9件 ・ 補助金総額 1,660千円(購入総重量332,000kg×5円)					

事業名	畜産クラスター事業			決算額	107,621 千円
				所管課	農政課
財源内訳	国県	104,621 千円;市債	千円;その他	千円;一般	3,000 千円
[主な事業内容と成果] 白河市畜産振興協議会が策定した畜産クラスター計画に則り、地域の畜産の収益力向上、作業の効率化等に取り組む畜産農家に対し、肥育畜舎、分娩哺育豚舎等の施設整備を支援した。 ○ 補助実績 ・ 補助率 国 1/2 、市 1/10 ・ 補助件数 1件 ・ 総事業費 230,215千円 ・ 補助金額 107,621千円 ・ 整備した施設等 肥育畜舎、分娩哺育豚舎等					

事業名	農業の未来をつくるスマート農業推進事業			決算額	6,436 千円																					
				所管課	農政課																					
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	6,436 千円																					
[主な事業内容と成果] ロボット技術やICTを活用して省力・高品質化を実現するスマート農業を促進する事業を実施した農業者等に対し、補助金を交付した。 ○ 補助実績 ・ 補助件数 7件 ・ 補助金総額 6,436千円 ・ 補助金内訳 <table><tr><th>対象機械</th><th>補助金額(千円)</th><th>備考</th></tr><tr><td>密苗用田植機</td><td>3,000</td><td>3件合計</td></tr><tr><td>農業用ドローン</td><td>1,000</td><td></td></tr><tr><td>薬剤散布ボート</td><td>436</td><td></td></tr><tr><td>収量・食味センサー付きコンバイン</td><td>1,000</td><td></td></tr><tr><td>ICT機能付きコンバイン</td><td>1,000</td><td></td></tr><tr><td>合 計</td><td>6,436</td><td></td></tr></table>						対象機械	補助金額(千円)	備考	密苗用田植機	3,000	3件合計	農業用ドローン	1,000		薬剤散布ボート	436		収量・食味センサー付きコンバイン	1,000		ICT機能付きコンバイン	1,000		合 計	6,436	
対象機械	補助金額(千円)	備考																								
密苗用田植機	3,000	3件合計																								
農業用ドローン	1,000																									
薬剤散布ボート	436																									
収量・食味センサー付きコンバイン	1,000																									
ICT機能付きコンバイン	1,000																									
合 計	6,436																									

事業名	白河産米食味分析事業			決算額	518 千円
				所管課	農政課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	518 千円
[主な事業内容と成果]					
生産現場での品質・食味の向上を図り、付加価値の高い、売れる白河産米を支援するため、食味分析計を導入・運用した。					
(実績) ・食味分析測定申込数 126人 241件					
品種名	件数	最高ポイント	最低ポイント	平均ポイント	
コシヒカリ	215	89	69	80.3	
ひとめぼれ	13	85	70	78.1	
天のつぶ	6	77	63	70.8	
その他	7	87	72	78.3	
総 合	241	89	63	79.9	

事業名	白河市産米消費拡大及び魅力発信事業			決算額	6,705 千円
				所管課	農政課
財源内訳	国県	3,000 千円市債	千円その他	千円一般	3,705 千円
[主な事業内容と成果] 白河市産米の販路開拓等による安定的な需要確保のため、販売促進活動や実際に白河市産米に触れる機会の創出及び誘導を図りながら、地域イメージの確立に向け、歴史・文化などの市域資源とともに白河市産米の魅力を発信した。 ○委託料:4,787千円 旅費:318千円 負担金補助及び交付金:1,600千円 ○実施概要 ・首都圏及び市内において白河産コシヒカリの販売促進・PRイベントを開催。 ・首都圏において開催された「第3回地域産品展」に出展し白河産コシヒカリの売り込みを行った。 ・オンライン上で行われた販売促進キャンペーンに参加、需要拡大を図った。  【販売促進・PRイベント】  【商談会での商品PR】  【海ほたるPAの物販】  【白河マルシェの物販】					

事業名	白河の大地が君を待つ！就農全力バックアップ事業		決算額	1,906 千円				
			所管課	農政課				
財源内訳	国県	474 千円	市債	千円	その他	千円	一般	1,432 千円
[主な事業内容と成果]								
新規就農及び移住・定住を促進するため、「就農フェア」へ出展した。また、就農相談体制を充実するため、相談専門員の賃金を支給した。								
○支援活動状況								
支援活動名		概要		実績		備考		
新・農業人フェア (9月27日) (オンライン出展)		就農希望者を対象としたイベントへの出展		・出店者数 123団体 ・来場者数 1,209人 ・ブース来場者数 9人		オンラインブース83団体		
ふくしま農業人フェア (11月16日)		就農希望者を対象としたイベントへの出展		・来場者数 約 300人 ・ブース来場者数 11人				
新・農業人フェア (2月27日) (オンライン出展)		就農希望者を対象としたイベントへの出展		・出店者数 115団体 ・来場者数 856人 ・ブース来場者数 4人		オンラインブース98団体		

事業名	農業次世代人材投資事業		決算額	24,675 千円				
			所管課	農政課				
財源内訳	国県	24,675 千円	市債	千円	その他	千円	一般	千円
[主な事業内容と成果] 50歳未満の独立・自営農業者(認定新規就農者)に対し、経営が不安定な初期段階に最長5年にわたり、毎年150万円(夫婦は225万円)を限度として資金を補助した。 ○ 補助実績 ・ 補助率 県 10／10 ・ 補助件数 17件 ・ 補助金額 24,626千円								

事業名	がんばる新規就農者支援事業	決算額	4,460 千円		
		所管課	農政課		
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	4,460 千円
[主な事業内容と成果] 経営が不安定な就農初期段階において、安定的かつ計画的に営農に臨めるよう、青年等就農計画書等で経営規模目標を達成するために導入すると定めた施設、機械等の導入経費を支援し、新規就農者の定着を図った。					
○ 補助実績					
・ 補助額		定額(1,500千円上限)			
・ 補助件数		3件			
・ 補助金総額		4,460千円			
・ 導入した農業用機械等		パイプハウス、トラクター用ロータリー、草刈り機等			

事業名	農畜産物6次化・ブランド化推進事業			決算額	5,932 千円
				所管課	農政課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	5,932 千円

【主な事業内容と成果】

これまで取り組んできた「白河市農産物ブランド」を全体的に見直し、「農産物ブランド白河しろもの」として基本方針等を策定した。また、市内産の農畜産物を主な原材料とした新商品の開発や販路開拓に向けた取組みに係る経費の一部を支援した。このほか、定住自立圏構想の取組みとして「事業者向け6次産業に係る研修会」を開催した。



【新たなロゴデザイン】

○ 白河ブランド再構築(リブランディング)事業実績(委託料 4,268千円)

「白河市農産物ブランド」について、これまでの取組みにおける課題等を踏まえ、白河市農産物ブランド戦略委員会での検討に基づき、基本方針、認証制度、ロゴデザイン等を見直し、「農産物ブランド白河しろもの」として令和3年度から取り組むこととした。

○ アグリビジネス連携補助金 補助実績 (補助率 2/3) (単位:千円)

事業名	補助上限額	補助実績額 (件数)	事業の内容
新商品 事業化推進事業	800	1,453 (4件)	新商品の開発に向けた取組(商品のネーミング、パッケージデザイン開発等を含む。)に対する補助
合 計		1,453(4件)	

○ 定住自立圏構想関連事業 (単位:千円)

事業名	事業負担金	事業の内容
事業者向け6次産業 に係る研修会	63	農業6次化の専門家を講師に招き、商品の開発等に係る研修会を3回開催した。 ①全国の事例に学ぶ、売れる6次化商品開発のコツ ②農産物加工の基本と衛生管理、食品表示のポイント ③農産物加工品の際立つネーミング&パッケージング

事業名	大信地域市民交流センター「ひじりん館」運営事業			決算額	13,365 千円
				所管課	事業課(大信)
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	13,365 千円
【主な事業内容と成果】					
市民の交流促進、地域産業の振興を図るため、平成28年7月2日に大信地域市民交流センター「ひじりん館」を開館した。大信商工会を指定管理者として、施設の管理運営を行った。					
○利用者数 (単位:人)		○売上額等 (単位:千円)			
年度	利用者数	農産物等販売施設	飲食提供施設	集会室・和室利用料	合 計
R2	40,198	32,366	7,763	841	40,970

Ⅱ 若い世代の活躍を支える

※事業費は決算ベース

Ⅱ-1

事業番号	1	「ふれあいの場」創出事業			決算額	500 千円
					所管課	生活防災課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	500 千円	

【主な事業内容と成果】

少子化等により地方における「結婚問題」は、深刻な状況にあるため、定住自立圏の広域的な範囲で「ふれあいの場」創出事業を実施することにより多くのカップル誕生を図るとともに、少子化対策と定住自立の促進を図ることを目的とし、県南9市町村を対象に世話やき人セミナーを1回、出逢い創出パーティーを4回(同時に結婚意識形成のセミナー開催)実施した。パーティーには延べ242人の参加があり、28組の男女が互いに好印象を持ち、出会いのきっかけ作りとなった。

○決算額 7,080千円(市負担金500千円)

○出逢い&ふれあいの会(セミナー及び出逢いイベント)

	世話やき人セミナー	第1回イベント	第2回イベント	第3回イベント	第4回イベント
開催日	6月24日(日)	7月28日(土)	9月29日(土)～30日(日)	11月18日(日)	2月16日(土)
開催場所	市立図書館	鹿島ガーデンヴィラ	東白川郡4町村	東京第一ホテル新白河	グランドエクシブ那須白河
参加人数	24人	68人	36人	36人	78人
カップル数		10組	6組		12組

Ⅱ-2

事業名	地域子育て支援拠点事業				決算額	12,497 千円																																																														
					所管課	こども支援課																																																														
財源内訳	国県	8,330 千円;市債	千円;その他	千円;一般	4,167 千円																																																															
[主な事業内容と成果]																																																																				
乳幼児とその保護者が気軽に集い、語り合い、交流する場を開設し、子育てについての相談、子育て情報の提供を行った。																																																																				
〈補助率〉 国補助金 1/3 県補助金 1/3																																																																				
〈利用実績〉				(単位:日、人)	〈歳出決算内訳〉 (単位:千円)																																																															
<table><tr><th colspan="6">利用状況</th></tr><tr><th rowspan="2">施設</th><th rowspan="2">開催回数</th><th colspan="4">利用人数</th></tr><tr><th>子ども</th><th>大人</th><th>計</th><th>1回平均</th></tr><tr><td>おひさまひろば</td><td>235</td><td>3,975</td><td>3,741</td><td>7,716</td><td>33</td></tr><tr><td>赤ちゃんひろば(本町)</td><td>16</td><td>82</td><td>82</td><td>164</td><td>10</td></tr><tr><td>大信子育て広場</td><td>78</td><td>697</td><td>448</td><td>1,145</td><td>15</td></tr><tr><td>たんぽぽサロン</td><td>122</td><td>856</td><td>639</td><td>1,495</td><td>12</td></tr><tr><td>赤ちゃんひろば(大沼)</td><td>24</td><td>98</td><td>100</td><td>198</td><td>8</td></tr><tr><td>おでかけたんぽぽ</td><td>75</td><td>796</td><td>624</td><td>1,420</td><td>19</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>6,504</td><td>5,634</td><td>12,138</td><td></td></tr></table>						利用状況						施設	開催回数	利用人数				子ども	大人	計	1回平均	おひさまひろば	235	3,975	3,741	7,716	33	赤ちゃんひろば(本町)	16	82	82	164	10	大信子育て広場	78	697	448	1,145	15	たんぽぽサロン	122	856	639	1,495	12	赤ちゃんひろば(大沼)	24	98	100	198	8	おでかけたんぽぽ	75	796	624	1,420	19	合 計		6,504	5,634	12,138		<table><tr><td>事業内容</td><td>事業費</td></tr><tr><td>委託料</td><td>12,497</td></tr></table>	事業内容	事業費	委託料	12,497
利用状況																																																																				
施設	開催回数	利用人数																																																																		
		子ども	大人	計	1回平均																																																															
おひさまひろば	235	3,975	3,741	7,716	33																																																															
赤ちゃんひろば(本町)	16	82	82	164	10																																																															
大信子育て広場	78	697	448	1,145	15																																																															
たんぽぽサロン	122	856	639	1,495	12																																																															
赤ちゃんひろば(大沼)	24	98	100	198	8																																																															
おでかけたんぽぽ	75	796	624	1,420	19																																																															
合 計		6,504	5,634	12,138																																																																
事業内容	事業費																																																																			
委託料	12,497																																																																			

事業名	母子健康支援事業			決算額	2,427 千円			
				所管課	こども支援課			
財源内訳	国県	1,166 千円	市債	千円	その他	4 千円	一般	1,257 千円

【主な事業内容と成果】

妊娠・出産・育児に関する総合的な相談や支援を提供する子育て世代包括支援センターにおいて、切れ目のない支援に努めた。

さらに、「親子の愛着形成」や「妊娠期からの子どものメディア依存の予防」、「生活リズムを整えることの重要性」の意識を醸成し、親の育児力アップと育児の負担感の軽減を図るため子育てスキルアップ事業を実施した。

わくわく子育て教室は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、講話動画の配信を行った。

母子健康手帳交付数	380件
父子健康手帳交付数	375件



【乳幼児健診時集団教育】

○育児支援事業

(単位:回、人)

教室名	実施回数	参加者数
離乳食相談会	9	19

○子育てスキルアップ事業

(単位:回、人)

事業名	実施回数	参加者数
わくわく子育て教室	133(動画配信)	133
乳幼児健診時集団教育	51	1,548
園児保護者向講演会	1	48

事業名	家庭訪問型子育て支援(ホームスタート)事業			決算額	2,072 千円			
				所管課	こども支援課			
財源内訳	国県	2,042 千円	市債	千円	その他	千円	一般	30 千円
【主な事業内容と成果】 ひきこもりがちな家庭や従来の子育て支援では対応できなかった家庭を対象に、児童虐待等の大きな問題に発展するのを未然に防ぐことを目的とした事業。 ボランティアであるホームビジターが未就学児のいる家庭を定期的に訪問し、保護者に寄り添いながら話を聴く傾聴や、家事・育児を一緒にすることなどにより信頼関係を築き、親自身の子育て意欲の向上と、親子が地域とつながるきっかけづくりの手助けを行った。								
</								

事業名	母子訪問指導事業				決算額	3,953 千円				
					所管課	こども支援課				
財源内訳	国県	1,492 千円	市債	千円	その他	千円	一般	2,461 千円		
[主な事業内容と成果]										
○こんにちは赤ちゃん訪問事業					(単位:人、件)					
生後4か月までの乳児のいる全家庭を保健師・看護師が訪問し、育児不安を抱える母親の相談に応じたほか、子育てに関する様々な情報を提供するなどの支援を行った。また、訪問未実施者については、来庁時に面接したほか、里帰先で滞在している市町村に訪問を依頼するなどにより対応した。										
					訪問対象者数	362				
					訪問乳児数	340				
					訪問実家庭数	338				
○養育支援訪問事業					(単位:件)					
養育支援が特に必要と判断した家庭に対して保健師が訪問し、育児に関する指導・助言を行った。										
					訪問実家庭数	9				
					訪問延実家庭数	49				
○母子訪問指導事業					(単位:人)					
乳幼児健診や赤ちゃん訪問などで支援が必要と判断した家庭に対し、保健師が訪問し養育に関する指導・助言を行った。										
					対象	妊婦	産婦	乳児	幼児	その他
					訪問者延数	9	439	51	165	237

事業名	妊産婦医療費助成事業		決算額	3,751 千円
			所管課	こども支援課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般
3,751 千円				
[主な事業内容と成果]				
妊娠4か月となった日の属する月の初日から出産の日の属する月の翌月末までの入院及び外来時の医療費(保険診療分一部負担金)の助成を行った。				
(助成実績) (単位:件、千円)				
延べ助成件数		助成金額		
514		3,743		

事業名	妊産婦健康診査事業			決算額	45,527 千円	
				所管課	こども支援課	
財源内訳	国県	1,075 千円	市債	千円	その他 千円	一般 44,452 千円

[主な事業内容と成果]

○妊産婦健康診査事業

妊娠出産を支援するため、妊婦健診を15回(妊娠前期1回、妊娠後期1回、その他13回)、産後1か月健診1回の費用を助成し、異常の早期発見と保健指導を行った。

(単位:人)

健診時期	妊娠前期	妊娠後期	その他健診	産後1か月	合計
受診者数	370	368	3,722	351	4,811

○新生児聴覚検査事業

聴覚障がいや早期に発見し、できるだけ早い段階で適切な療育が受けられるようにするため、検査費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った。

(単位:人)

検査受診者	358
-------	-----

○産後ケア事業

産後一年以内の母子に対し産後の疲労回復や、母乳育児不安等に対する様々な悩みの解消のため、福島県助産師会に委託し、宿泊や日帰りで助産施設を利用する費用の一部を助成し経済的負担の軽減を図った。

(単位:人)

種別	日帰りケア	宿泊ケア
件数	4	2

事業名	特定不妊治療費用助成事業	決算額	2,822 千円		
		所管課	こども支援課		
財源内訳	国県	千円:市債	千円:その他	千円:一般	2,822 千円
[主な事業内容と成果]					
特定不妊治療、男性不妊治療を行った場合、治療に要した費用の一部を助成した。 (1回の治療につき、5～10万円の助成を実施)					
(単位:件、千円)					
助成件数		助成額			
34		2,822			

事業名	すこやか相談・発達支援事業		決算額	3,267 千円				
			所管課	こども支援課				
財源内訳	国県	1,487 千円	市債	千円	その他	千円	一般	1,780 千円

[主な事業内容と成果]

関係機関連携のもと、生まれてから義務教育終了となる中学校卒業まで、切れ目なく総合的に見守り支援していく事業。保育園・幼稚園の4歳児を対象に「すこやか相談会」を実施し、保護者の子育てに関する悩みや心配事に応じるとともに、その後のフォローアップを行った。

さらに、ことばや発達の遅れ等に関する育児不安や対応の仕方について、のびのび教室(発達支援教室)の一部委託や専門家による発達相談会の開催で早期からの支援の充実に努めた。

○すこやか相談			(単位:回、人)		
区分	回数	実施児童数			
すこやか相談会	39	474			
フォローアップ訪問	23	62			

○発達支援事業			(単位:回、人)		
区分	回数	参加者数			
のびのび教室	62	287			
発達相談会	12	34			

事業名	子育て支援アプリ活用事業				決算額	144 千円		
					所管課	こども支援課		
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	144 千円

【主な事業内容と成果】

スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、平成27年度に独自の子育て支援アプリ「ぽっかぽか」を開発し、子育てに関する情報の提供を開始した。

令和2年度は、同アプリを適切に運用するとともに、母子健康手帳交付時等に、アプリの機能紹介を掲載したチラシを配布し、引き続き普及活動を行った。

○歳出決算内訳

事業内容	事業費
委託料	106
需用費	38
合計	144

○利用実績

登録者数
2,013

※登録者数は、令和3年3月末日現在



【広報チラシ】

事業名	歯科保健事業		決算額	1,450 千円	
			所管課	こども支援課	
財源内訳	国県	820 千円;市債	千円;その他	117 千円;一般	513 千円

【主な事業内容と成果】

乳幼児期から学童期において、ブラッシング指導やフッ化物を活用し歯質の強化を図りむし歯予防に取り組んだ。

○フッ化物歯面塗布

1歳児健診・1歳6か月児健診・2歳児健診・3歳児健診で実施。2歳児健診でむし歯になる可能性が高く歯科指導が必要と判断された幼児は、保健センターで実施する歯科クリニックで一人2回実施。それ以外は、白河歯科医師会に委託し、歯科医療機関で個別に一人1回実施した。

(単位:人)

健診名	フッ化物歯面塗布実施数
1歳児健診	303
1歳6か月児健診	393
2歳児健診	348
3歳児健診	405
歯科クリニック	234
歯科医療機関	97
合 計	1,780

○幼稚園保育園歯科指導事業

歯科衛生士を派遣し、歯の磨き方や6歳臼歯の大切さ、おやつを食べ方等について指導した。

(単位:園、人)

実施園数	参加園児数	参加保護者等
15	577	159

○フッ化物洗口

保育園5園、幼稚園13園、小学校14校、中学校6校で実施した。

事業名	乳幼児健康診査事業			決算額	5,440 千円																																								
				所管課	こども支援課																																								
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	756 千円	一般	4,684 千円																																					
【主な事業内容と成果】 乳幼児の病気の予防と早期発見、健康の保持・増進及び子育て支援を目的に、月齢に合わせて健康診査を実施するとともに、未受診者には保健師が訪問し受診勧奨や発達の確認を行った。 さらに、ことばの遅れや発達の心配、育児不安等に対応して、言語聴覚士や臨床心理士による相談支援に努めた。 (単位:人) <table><tr><th>健診名</th><th>対象者数</th><th>実受診者数</th><th>延受診者数</th></tr><tr><td>4か月児健康診査</td><td>366</td><td>336</td><td>361</td></tr><tr><td>1歳児健康診査</td><td>343</td><td>338</td><td>338</td></tr><tr><td>1歳6か月児健康診査</td><td>418</td><td>410</td><td>412</td></tr><tr><td>2歳児健康診査</td><td>384</td><td>370</td><td>370</td></tr><tr><td>3歳児健康診査</td><td>469</td><td>464</td><td>466</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,980</td><td>1,918</td><td>1,947</td></tr></table> (単位:人) <table><tr><th>事業名</th><th>実施回数</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>ことばの相談</td><td>12</td><td>44</td></tr><tr><td>心理相談</td><td>41</td><td>76</td></tr></table>									健診名	対象者数	実受診者数	延受診者数	4か月児健康診査	366	336	361	1歳児健康診査	343	338	338	1歳6か月児健康診査	418	410	412	2歳児健康診査	384	370	370	3歳児健康診査	469	464	466	合 計	1,980	1,918	1,947	事業名	実施回数	参加者数	ことばの相談	12	44	心理相談	41	76
健診名	対象者数	実受診者数	延受診者数																																										
4か月児健康診査	366	336	361																																										
1歳児健康診査	343	338	338																																										
1歳6か月児健康診査	418	410	412																																										
2歳児健康診査	384	370	370																																										
3歳児健康診査	469	464	466																																										
合 計	1,980	1,918	1,947																																										
事業名	実施回数	参加者数																																											
ことばの相談	12	44																																											
心理相談	41	76																																											

事業名	ファミリーサポートセンター委託事業		決算額	2,283 千円
			所管課	こども支援課
財源内訳	国県	1,520 千円;市債	千円;その他	千円;一般 763 千円

[主な事業内容と成果]

育児の援助が欲しい方(おねがい会員)と援助ができる方(まかせて会員)が会員となり、互いに助け合う事業。
 小学校6年生までの子どもを養育している方を対象に保育園・幼稚園・児童クラブなどへの送迎、子どもの預かりなどを行うとともに、「まかせて会員」の養成のための講習会を開催した。

〈利用実績〉 (単位:件)

利用件数
491

〈歳出決算内訳〉 (単位:千円)

事業内容	事業費
委託料	2,283

〈会員登録〉 (単位:人)

登録人数			
おねがい会員	まかせて会員	両方会員	計
166	45	1	212

※登録者数は、令和3年3月末日現在



【ファミリーサポートセンター】

事業名	子育てサロン推進事業		決算額	420 千円
			所管課	こども支援課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般 420 千円

[主な事業内容と成果]

子育てを楽しめる環境づくりを促進するため、未就学児及びその保護者が気軽に集い交流し、仲間づくりを行う場を運営する団体に、活動費用の一部を助成した。

〈補助要件〉

対象団体	・市内に活動拠点を置き、組織の運営に関する規則、会則等を定めている団体
対象事業 (右記の要件をすべて満たすこと。)	・月1回以上、1回あたり2時間程度開催 ・1回の参加人数(子ども)が概ね5人以上 ・親子の参加しやすい日時に開催、安全・衛生面に配慮 ・育児相談に応じ、助言を行うこと ・政治、宗教、営利活動を目的としない
活動場所	・公民館、集会所等公共施設、その他市長が認めるもの
補助金額	①週1回以上開催の場合 補助対象経費の総額の3/4以内、年額60万円を限度 ②月1回以上開催の場合 1か月当たりの補助金は2万円を限度。次のうち少ない方の額。 (1)経費の総額 (2)開催回数×1万円

〈補助実績〉 (単位:千円)

事業内容	事業費
補助金	420

補助団体等

- ・子育てサポートおもてごう
- ・表郷移動文庫 つくしの会
- ・mama'p

* 「子育てサポートおもてごう」、「表郷移動文庫 つくしの会」は、2団体で分担して「表郷子育て広場」を運営している。

事業名	こどもの居場所づくり支援事業				決算額	1,120 千円		
					所管課	こども支援課		
財源内訳	国県	468 千円	市債	千円	その他	652 千円	一般	千円

[主な事業内容と成果]

様々な支援を必要とする子どもたちのために、地域での居場所(こども食堂)をつくり、食事・団らんの場の提供や学習支援を行った。あわせて、自主的にこども食堂を運営している団体に対して、運営の継続を支援するため、経費の一部を補助した。

〈委託事業実績〉

(単位:回、人)

利用状況					
たべまな	開催回数	利用人数			
		子ども	大人	計	1日平均
	44	786	236	1,022	23

〈歳出決算内訳〉

(単位:千円)

事業内容	事業費
委託料	720
補助金	400
合 計	1,120

〈補助率〉 (※委託料720千円分)

県補助金 3/4 (補助対象金額432千円)
国補助金 1/2 (補助対象金額288千円)

〈補助の主な要件〉

対象団体	市内でこども食堂を運営する団体
対象事業	子どもの生活向上のために、食事の提供等を行うもの ・1か月の開催回数が1回以上 ・1回の開催時間が2時間以上 ・学習支援や基本的な生活習慣の習得支援を行う
補助金額	1か月当たりの補助金は2万円を限度。 下記のうち、少ない方の額。 ①経費の総額 ②開催回数×1万円

補助団体

- ・(一社)あんだんて ・NPO法人 NEXTしらかわ
- ・非営利任意団体 白河こども食堂支援センター

事業名	ひとり親家庭ジョブサポート事業			決算額	1,995 千円			
				所管課	こども支援課			
財源内訳	国県	962 千円	市債	千円	その他	千円	一般	1,033 千円

【主な事業内容と成果】

ひとり親家庭の生活の安定と自立を支援するため、ひとり親家庭の親に寄り添い就業支援を行う「就業支援専門員」を配置した。

〈支援実績〉

(単位:人)

就業支援者数	
24	うち就業者数
	16

〈歳出決算内訳〉

(単位:千円)

事業内容	事業費
共済費	248
報酬	1,361
職員手当等	103
旅費	152
需用費	24
役務費	48
償還金利子及び割引料	59
合 計	1,995

〈補助率〉

国補助金 1/2

皆様の生活状況等を踏まえ、
皆様の希望に即した支援を
させていただきます。

事業名	ひとり親家庭キャリアアップ応援貸付事業		決算額	1,950 千円
			所管課	こども支援課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般
				1,950 千円
[主な事業内容と成果]				
看護師や介護福祉士等の資格取得のために養成機関で修業中のひとり親家庭の親に対して、修業期間中の生活費の不安を軽減するため、生活資金の貸付を行った。				
なお、修業終了後、一定の条件を満たした場合には、貸付金の返還を免除する。				
(返還免除要件)				
養成機関を修了し、かつ資格を取得した日から1年以内に就職し、取得した資格が必要な業務に従事し、引き続き5年間白河市に住民登録を行ったとき。				
〈貸付額〉				
貸付要件		貸付額		
児童扶養手当法に規定する児童を1人扶養している場合		月額50,000円		
※扶養する児童がひとり増えるごとに月額10,000円加算				
〈貸付実績〉 (単位:人、千円)		〈歳出決算内訳〉 (単位:千円)		
貸付人数	貸付金額	事業内容	事業費	
4	1,950	貸付金	1,950	

事業名	白河っこすくすく赤ちゃんクーポン券支給事業			決算額	23,987 千円
				所管課	こども支援課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	23,987 千円

[主な事業内容と成果]

未来を担う子どもの健やかな成長を願い、経済的負担を軽減することで安心して子育てができる環境を整えるため、紙おむつ、おしりふき、ゴミ袋等と交換できる年間3万円のクーポン券を、0歳児及び1歳児の保護者に交付した。



【白河っこすくすく赤ちゃんクーポン券】

〈交付実績〉

0歳児(令和2年4月1日～令和3年3月31日生まれ)	354件
1歳児(平成31年4月1日～令和2年3月31日生まれ)	375件
計	729件

〈歳出決算内訳〉 (単位:千円)

事業内容	事業費
需用費	440
扶助費	23,547
合計	23,987

事業名	子ども医療費助成事業		決算額	217,189 千円				
			所管課	子ども支援課				
財源内訳	国県	118,883 千円	市債	千円	その他	千円	一般	98,306 千円

[主な事業内容と成果]

出生から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの入院及び外来時の医療費(保険診療分一部負担金)の助成を行った。

〈助成実績〉

(単位:件、千円)

区分	延べ助成件数	助成金額
乳幼児	40,484	72,900
小学生	30,619	70,887
中学生	11,896	32,251
高校生	11,597	38,354
合 計	94,596	214,392

〈補助率〉

区分	補助率
乳幼児	県補助金1/2
小学1年から3年まで	単独市費
小学4年から高校生	県補助金10/10

事業名	ごみ袋支給事業			決算額	1,457 千円			
				所管課	環境保全課			
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	1,457 千円
[主な事業内容と成果]								
子育て応援の一環として、児童扶養手当受給世帯を対象に、生活の安定と自立を支援するため、ごみ袋を支給した。								
〈支給状況〉								
対象世帯数			585世帯					
ごみ袋の種類と配布枚数			燃える・燃えないごみ袋(小) 60枚					
※ごみ袋購入費:「燃える・燃えないごみ袋(小)20枚入」 830円								
830円(1袋) × 3袋(1世帯分) × 585世帯 = 1,456,650円								

事業名	多子世帯給食費負担軽減事業	決算額	17,718 千円
		所管課	健康給食推進室
財源内訳	国県千円;市債千円;その他千円;一般千円		17,718 千円
[主な事業内容と成果]			
子育てしやすい環境を充実させるため、18歳以下の兄弟姉妹のうち義務教育を受けている第3子以降の児童生徒を対象に学校給食費を全額助成し、多子世帯における経済的な負担軽減を図った。			
(単位:人、千円)			
事業内容	対象者	対象人数	事業費
多子世帯給食費助成金	小学生	298	15,878
	中学生	32	1,831
	計	330	17,709
通信運搬費			9
合 計	17,718		

事業名	就学援助事業(小学校)		決算額	32,239 千円				
			所管課	学校教育課				
財源内訳	国県	1,251 千円	市債	千円	その他	千円	一般	30,988 千円

[主な事業内容と成果]

○就学援助事業

白河市就学援助条例において、新入学児童学用品費、学用品費、通学用品費、体育実技用具費、校外活動費、学校給食費、修学旅行費、通学費、医療費、クラブ活動費、生徒会費及びPTA会費の12項目を援助費目として規定し、経済的に困窮している児童の世帯に対し、その経費の一部を支援した。

○認定の推移

年 度	全児童数	認定者数	内要保護者数	認定割合	決算額
平成29年度	3,225人	439人	12人	13.6%	31,931
平成30年度	3,205人	441人	8人	13.8%	30,102
令和元年度	3,059人	409人	9人	13.4%	28,334
令和2年度	3,041人	383人	8人	12.6%	28,979

○その他

支出内容	執行額	支払先
令和2年度日本スポーツ振興センター共済掛金	333	日本スポーツ振興センター
令和2年度特別支援教育就学奨励費	2,927	年2回、保護者へ支給





事業名	就学援助事業(中学校)			決算額	36,438 千円			
				所管課	学校教育課			
財源内訳	国県	1,273 千円	市債	千円	その他	千円	一般	35,165 千円

[主な事業内容と成果]

白河市就学援助条例において、新入学生徒学用品費、学用品費、通学用品費、体育実技用具費、校外活動費、学校給食費、修学旅行費、通学費、医療費、クラブ活動費、生徒会費及びPTA会費の12項目を援助費目として規定し、経済的に困窮している生徒の世帯に対し、その経費の一部を支援した。

○認定の推移

(単位:千円)

年 度	全生徒数	認定者数	内要保護者数	認定割合	決算額
平成29年度	1,868人	273人	4人	14.6%	36,022
平成30年度	1,781人	264人	5人	14.8%	34,990
令和元年度	1,703人	278人	8人	16.3%	39,484
令和2年度	1,627人	275人	7人	16.9%	34,585

○その他

(単位:千円)

支出内容	執行額	支払先
令和2年度日本スポーツ振興センター共済掛金	242	日本スポーツ振興センター
令和2年度特別支援教育就学奨励費	1,611	年2回、保護者へ支給





事業名	奨学資金貸与事業			決算額	25,100 千円
				所管課	学校教育課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	25,100 千円
【主な事業内容と成果】 人材育成と教育の機会均等を確保する観点から、修学的意思と能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難生徒及び学生に対して、正規の修学期間において奨学資金を貸与することで経済的支援を行った。					
(単位:千円)					
内 容			人数	貸与額	
奨学資金 (無利息)	大学生	月額 50,000円以内	36	20,760	
	専修学校生	月額 40,000円以内	4	1,800	
	高校生	月額 30,000円以内	7	2,520	
	合 計		47	25,080	

事業名	男女共同参画推進事業			決算額	126 千円
				所管課	生涯学習スポーツ課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	126 千円

【主な事業内容と成果】

男女共同参画に関する認識を深め、男女がともに平等な権利を持ち、それぞれの能力を充分に発揮し、その能力を活かせる機会を増やす男女共同参画社会の実現に寄与する事業。

令和2年度は女性のキャリア形成支援事業として、白河市男女共同参画懇話会からの意見・要望等を勘案し、男女共同参画社会の推進を図るための講演テーマ、講師等を選定し、講演会を開催した。

講演会後も、直接講師の方と話を希望する方が多く見られ、アンケートでも「共感できる内容で良かった」「ワークライフバランスに悩んでいたのが参考になった」「直接講師と連絡を取りたい」との声が多かった。

○ 「誰もが自分らしい調和で働き、社会とつながっている未来を目指して！
～1日2時間の働き方で将来につながるスキルを身につける取り組み～」

開催日： 令和3年1月28日(木)

場 所： 白河市立図書館りぶらん(地域交流会議室)

講 師： 2hours代表 鷲谷 恭子 氏

内 容： 子育てか仕事か、ゼロか100かの選択で悩んでいませんか？
もっと違う選択肢は、バランスのとれた働き方はないか、と模索した
講師自身の体験から生まれた新しい働き方のご提案！

参加者： 会場参加者 12人、Zoom参加者 15人



【講演の様子】

【講演の様子】

事業名	認定こども園整備事業		決算額	71,772 千円				
			所管課	こども育成課				
財源内訳	国県	47,848 千円	市債	千円	その他	18,000 千円	一般	5,924 千円

[主な事業内容と成果]

学校法人熊田学園が創設する認定こども園に対して、建設費の一部を補助し保育施設の待機児童解消を図った。(R1・R2の2ヵ年事業)

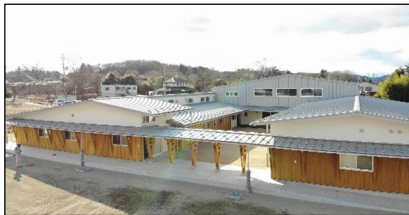
(単位:千円)

事業名	内 容	事業費	財源内訳			
			県	市債	その他	一般
認定こども園整備事業 (幼稚園部分)	負担金補助及び交付金	71,772	47,848		18,000	5,924

事業名	ひがし保育園建設事業			決算額	258,540 千円			
				所管課	こども育成課			
財源内訳	国県	12,951 千円	市債	133,500 千円	その他	78,300 千円	一般	33,789 千円

[主な事業内容と成果]

ひがし保育園の所在地は、池の埋め立て地であることから、地盤沈下により建物に歪みが生じ、改修工事を実施してきたが、震災を経て再び建物に歪みが生じていることから移転改築を行い適切な保育環境の確保を図った。(R1・R2の2ヵ年事業)



【ひがし保育園新園舎】

(単位:千円)

事業名	内 容	事業費	財源内訳			
			県	市債	その他	一般
ひがし保育園建設事業	需用費	5,316	12,951	133,500	78,300	33,789
	役務費	310				
	委託料(設計監理)	11,770				
	工事請負費	230,652				
	備品購入費	9,847				
	水道加入金	645				
合 計		258,540	12,951	133,500	78,300	33,789

事業名	認定こども園整備事業		決算額	142,936 千円				
			所管課	こども育成課				
財源内訳	国県	95,737 千円	市債	千円	その他	37,700 千円	一般	9,499 千円
[主な事業内容と成果]								
学校法人熊田学園が創設する認定こども園に対して、建設費の一部を補助し保育施設の待機児童解消を図った。(R1・R2の2ヵ年事業)								
(単位:千円)								
事業名	内 容	事業費	財源内訳					
			県	市債	その他	一般		
認定こども園整備事業 (保育園部分)	負担金補助及び交付金	142,936	95,737		37,700	9,499		

事業名	保育士確保対策事業			決算額	1,500 千円																												
				所管課	こども育成課																												
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	1,500 千円																												
[主な事業内容と成果] ○保育士人材派遣紹介料補助事業 保育士の求人に対して一定期間応募がなく、保育士が不足しているため、受け入れができない又はその恐れがある場合において、有料職業紹介所等からの紹介により保育士を確保した際に支払う紹介料の一部を補助する。 ○増築・新築に伴う保育士確保補助事業 待機児童解消のため、保育園・認定こども園の増築・新築を行い、開園準備のために事前に保育士を確保した場合に賃金の一部を補助する。 (単位:千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業者名</th><th rowspan="2">事業費</th><th colspan="4">事業別内訳</th></tr> <tr> <th colspan="2">保育士人材派遣紹介料補助事業</th><th colspan="2">増築・新築に伴う保育士確保補助事業</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校法人専念寺学園</td><td>1,200</td><td>1,200</td><td>4人</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>白河市社会福祉協議会</td><td>300</td><td>300</td><td>1人</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>1,500</td><td>1,500</td><td>5人</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>						事業者名	事業費	事業別内訳				保育士人材派遣紹介料補助事業		増築・新築に伴う保育士確保補助事業		学校法人専念寺学園	1,200	1,200	4人			白河市社会福祉協議会	300	300	1人			合 計	1,500	1,500	5人		
事業者名	事業費	事業別内訳																															
		保育士人材派遣紹介料補助事業		増築・新築に伴う保育士確保補助事業																													
学校法人専念寺学園	1,200	1,200	4人																														
白河市社会福祉協議会	300	300	1人																														
合 計	1,500	1,500	5人																														

事業名	人材確保・組織体制強化事業		決算額	4,654 千円
			所管課	こども育成課
財源内訳	国県	3,947 千円;市債	千円;その他	千円;一般
707 千円				

[主な事業内容と成果]

多様な保育需要に対応するため、保育人材の確保等に必要な措置を総合的に講じることで、待機児童の解消を図るとともに、子どもを安心して育てることができる環境整備を行う。

(単位:千円)

保 育 園 名	事 業 費	事 業 別 内 訳	
		保育体制強化	保育補助者雇上
白 河 保 育 園	2,769	986	1,783
白 河 み の り 保 育 園	1,885		1,885
合 計	4,654	986	3,668

○保育補助者雇上強化事業(補助対象人数)

白河保育園 2人、白河みのり保育園 2人

○保育体制強化事業(補助対象人数)

白河保育園 1人

事業名	放課後児童クラブ運営事業		決算額	132,667 千円				
			所管課	こども育成課				
財源内訳	国県	75,931 千円	市債	千円	その他	20,787 千円	一般	35,949 千円
[主な事業内容と成果]								
市内全15小学校区に、16放課後児童クラブを開設し、保護者の就労などの理由により放課後留守家庭になる1年生から6年生までの児童を対象に、遊びと生活の場を提供した。								
(単位:人)								
ク ラ ブ 名		登録者数	ク ラ ブ 名		登録者数			
白河第一小学校児童クラブ		73	みさか小学校児童クラブ		84			
白河第二小学校児童クラブ		106	表郷小学校児童クラブ		100			
白河第三小学校児童クラブ		105	小野田小学校児童クラブ		26			
にこにこ児童クラブ		-	かまこ児童クラブ		60			
おおぬま児童クラブ		54	信夫第一小学校児童クラブ		13			
しらさか児童クラブ		45	信夫第二小学校児童クラブ		14			
しらさかあったか児童クラブ		31	大屋小学校児童クラブ		24			
こたがわ児童クラブ		36						
五箇小学校児童クラブ		19						
関辺小学校児童クラブ		32	合 計		822			
※登録者数は令和2年4月1日現在								

事業名	病児保育事業				決算額	16,503 千円							
					所管課	こども育成課							
財源内訳	国県	6,224 千円		市債	千円	その他	4,403 千円		一般	5,876 千円			
[主な事業内容と成果]													
病気または回復期にある保育園等に通園している園児について、集団保育や家庭での保育ができない期間、一時的に預かり保護者の保育に対する負担軽減を図る。													
(単位:千円)													
事業名	内 容	事業費	財源内訳										
			国県	市債	その他	一般							
病児保育事業	・光熱水費 ・手数料 ・警備委託料 ・運営委託料 など	16,503	6,224		4,403	5,876							
(単位:人)													
利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	5	2	5	9	6	13	22	5	13	2	11	8	101

事業名	屋内遊び場「わんぱーく」管理運営事業			決算額	6,540 千円			
				所管課	まちづくり推進課			
財源内訳	国県	4,359 千円	市債	千円	その他	千円	一般	2,181 千円

[主な事業内容と成果]

マイタウン白河の多世代交流の活性化に向け、子育て世帯の利用を促進するため、「木育と知育」をコンセプトに子どもたちの豊かな感性を育む屋内遊び場「わんぱーく」を設置し、施設の管理運営を行った。

○事業費 (単位:千円)

区分	事業費	財源内訳	
		県	一般財源
委託料	6,540	4,359	2,181

財源: 福島県屋内遊び場確保事業補助金(2/3)

○施設概要

名 称	白河市屋内遊び場「わんぱーく」
所 在 地	白河市本町2番地(マイタウン白河4階)
利 用 時 間	①10:00～11:30
(入 替 制)	②13:00～14:30
	③15:00～16:30
定 員	各50人
休 館 日	毎週木曜日(祝日の場合は翌平日) 年末・年始(12月28日～1月4日)
対 象 者	小学3年生以下の子どものとその保護者 ※保護者同伴が要件で、保護者1人につき子どもは3人まで。
利 用 料 金	無料

○令和2年度利用者数 9,118人

※新型コロナウイルス感染症対策のため4月1日から5月31日まで休館。再開後は利用時間の短縮(各75分)及び定員の制限(各30人)、ボールプールの中止等により感染防止対策に努めた。



【白河市屋内遊び場「わんぱーく」】



【白河市屋内遊び場「わんぱーく」】

事業名	三世代同居等支援事業			決算額	8,150 千円	
				所管課	建築住宅課	
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	8,150 千円	
【主な事業内容と成果】 三世代の同居・近居の増加を推進することにより、子育て環境の充実及び高齢者支援の促進並びに住環境の向上及び定住促進を図るため、子世帯と親世帯が同居又は近居するために住宅の取得又は増改築リフォームを行う世帯に対して補助を行った。						
(令和2年度実績) ・補助件数 13件 (単位:千円)						
事業名	内 容	事業費	財 源 内 訳			
			国	県	その他	一般
三世代同居等支援事業	住宅取得又は増改築リフォーム費用の助成	8,150				8,150
(同居等の内訳)						
同居: 7件						
近居: 6件						

事業名	新婚生活支援事業		決算額	2,001 千円		
			所管課	建築住宅課		
財源内訳	国県	900 千円;市債 千円;その他 千円;一般 1,101 千円				
[主な事業内容と成果]						
若者の定住促進及び、少子化対策の促進を図ることを目的として、若年及び敵所得の新婚世帯に対して新婚に伴う新生活のスタートアップに要する費用の一部について補助を行った。						
(令和2年度実績) ・補助件数 7件 (単位:千円)						
事業名	内 容	事業費	財 源 内 訳			
			国	県	その他	一般
白河市新婚生活スタート応援事業	結婚を機に市内で新生活を始める新婚世帯に住居費や引越費用の補助を行う	2,001		900		1,101
(内訳)						
新居取得		: 1件				
新居賃貸契約(敷金・礼金)		: 6件 (重複有)				
新居家賃		: 6件 (重複有)				
新居引越(業者支払)		: 1件 (重複有)				

事業名	園児の散歩道安全対策事業		決算額	10,000 千円			
			所管課	道路河川課			
財源内訳	国県	5,500 千円	市債	4,000 千円	その他 千円	一般	500 千円

[主な事業内容と成果]

園児等が日常的に移動する経路の安全を確保するため、幼稚園、保育園周辺における道路の安全点検を実施し、防護柵等の交通安全施設を設置することにより安全・安心な歩行空間の整備を行った。

(単位:千円)

事業名	路線名等	事業費	財源内訳			
			国	市債	その他	一般
園児の散歩道安全対策事業	会津町地内ほか	10,000	5,500	4,000		500



【施工前】



【竣工】

事業名	公園施設長寿命化対策事業(交付金)			決算額	31,012 千円
				所管課	都市計画課
財源内訳	国県	15,500 千円	市債	13,900 千円	その他 千円
				一般	1,612 千円

[主な事業内容と成果]

都市公園遊戯施設について、ライフサイクルコスト軽減のため平成28年度に策定した長寿命化計画を基に、高山西公園、東風の台運動公園の遊戯施設の更新を行った。



【高山西公園】



【東風の台運動公園】

II-3

事業名	学校図書館利活用推進事業			決算額	30,917 千円
				所管課	学校教育課
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他 千円
				一般	30,917 千円

[主な事業内容と成果]

市立図書館を拠点とした学校司書の配置及び学校図書管理システムは、令和元年度に市内全ての小中学校に完了した。学校司書の配置により、学校図書館を整備するとともに本の貸し出しを電子化した。

学校司書が学校図書館に存在することで、児童・生徒が本と出会い、読書をする環境づくりを推進し、児童・生徒が読書の楽しさを実感できる機会を増やすことができた。学校司書を配置したことで、学校図書館が「読書センター」「情報センター」「学習センター」としての機能を果たし、児童生徒の読書冊数が増加している。

(単位: 千円)

事業内容	事業費
共済費・社会保険料	3,621
報酬・職員手当	21,567
旅費	600
需用費	2,545
使用料及び賃借料	2,094
備品購入費	490
合計	30,917



【学校司書の配置】

事業名	市立図書館管理運営事業			決算額	104,169 千円
				所管課	図書館
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	2,890 千円	一般 101,279 千円
【主な事業内容と成果】 市民や地域に期待される質の高い学びの場として資料・情報を提供し、学習、文化活動を中心とした多様な生涯学習を支える知の拠点、市民の交流の場として、図書館の管理運営を行った。 コロナ禍の状況下で入館者数は136,461人(1日平均約560人)と減少したが、返却期日を延長したこと返却ポストを24時間開放していることなど、頻繁に来館しなくてもいいサービスを工夫した効果もある。 ○ 年間来館者数 136,461人 1日平均559.3人 ○ 年間貸出利用冊数 445,305冊／点 ○ 蔵書冊数 315,838冊／点 うち開架図書 210,368冊／点					

事業名	図書・視聴覚資料等整備事業			決算額	36,067 千円
				所管課	図書館
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	10,221 千円	一般 25,846 千円
【主な事業内容と成果】 市民の多様な知的要求に応えると共に、生涯学習の支援となりうる情報拠点化を推進したことにより、市民の評価、利用率も高くなっている。蔵書は開架能力である15万冊(蔵書収容能力25万冊)を超えているが、資料の新陳代謝を図り、質の高い蔵書構成を目指していく。 視聴覚資料に関しては開架目標の1万点を計画的に収集する。 貸出冊数はコロナ禍の影響で減少傾向がみられるものの、在宅での読書や学習があらゆる世代に浸透している。 (実績) ○ 受入れ図書・視聴覚資料数 25,331冊／点 市立 18,526冊／点 表郷 2,355冊／点 大信 2,188冊／点 東 2,262冊／点 ○ 蔵書数 438,524冊／点 (うち開架図書299,444冊／点、視聴覚資料 9,624冊) 市立 315,838冊／点 表郷 35,099冊／点 大信 43,012冊／点 東 44,575冊／点 ○ 来館者数 151,159人 (1日平均579.2人) 市立 136,461人 表郷 7,341人 大信 3,732人 東 3,625人 ○ 年間貸出利用冊数(視聴覚資料含む) 488,384冊／点 (市民一人当たり8.16冊) 市立 445,305冊／点 表郷 16,901冊／点 大信 13,449冊／点 東 12,729冊／点					

事業名	土曜学習推進事業			決算額	148 千円
				所管課	学校教育課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	148 千円
【主な事業内容と成果】 中学校区ごとに小学生から希望を募り、土曜日に自主学習の場を設け、指導員が質問に答えたり一緒に考えたりすることで、できる喜びや分かる楽しさを経験させ、学習意欲の向上につなげた。 白河中央中学校区、東北中学校区、表郷中学校区、大信中学校区、東中学校区に白河第二中学校区を加えた6地区で、それぞれ年7回ずつを計画したが、コロナ禍によりそれぞれ4回の実施となった。					
(単位:千円)					
事業内容		事業費			
報償費		72			
旅費		18			
需用費		58			
合 計		148			



【表郷中学校における土曜学習会】

事業名	英語指導助手招致事業			決算額	29,610 千円
				所管課	学校教育課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	403 千円一般	29,207 千円
【主な事業内容と成果】 英語指導助手6人を配置して、中学校は学級数に応じて毎週1～3日、小学校は毎週1～2日の指導を行った。英語を母国語とする外国人の英語指導により、英語の学習への意欲が高まり、話すことや聞くことにおいて、学習を充実させることができた。また、中学校においては、英検を受検する生徒の指導や英語弁論大会に参加する生徒の指導にも貢献した。					
(単位:千円)					
事業内容		事業費			
給料		22,964			
共済費 社会保険料		3,134			
需用費		291			
役務費		9			
使用料及び賃借料		2,386			
備品購入費		129			
負担金補助及び交付金		697			
合 計		29,610			



【英語指導助手による授業】

事業名	ICT授業支援事業			決算額	8,501 千円
				所管課	学校教育課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	8,501 千円
[主な事業内容と成果] ICT支援員を各小・中学校に配置し、ICT教育の授業においてコンピュータの操作、指導の補助、コンピュータの保守点検等を行った。 2020年度からのプログラミング教育のサポート体制を整備するため、令和2年度は1名が増進され4名となった。 ○支援員に係る費用 人件費：23校×6時間×23回(時給1,900円×3,174時間) 旅 費：23校×23回(@900円×529回) その他、管理費等 ○国の目標基準 ・4校に1人配置 本市では23校に5.75人必要。 ・4人配置されたため、5.75校に1人配置できた。					
				 【ICT授業の様子】	

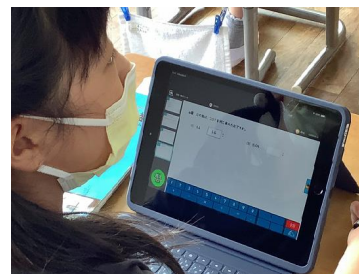
事業名	ICT教育指導力向上推進事業			決算額	1,756 千円
				所管課	学校教育課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	1,756 千円
[主な事業内容と成果] ICT教育における教員の指導力を向上させるため、専門知識を有する民間事業者に業務を委託した。 市立小野田小学校をモデル校として、指導者向けの研修等を行った。 ○費用内訳 ・タブレット操作研修 ・授業研修 ・デザイン研究 ・人材研修 ○委託期間 令和2年8月1日～令和3年3月31日 ○委託金額 1,755,600円 ○業務委託内容 ・支援員派遣 ・デジタル教科書購入 ・教育講演会開催 ほか					
				 【授業の様子】	

事業名	ICT教育環境整備事業(小学校)			決算額	188,202 千円
				所管課	学校教育課
財源内訳	国県	166,668 千円	市債 千円	その他 千円	18,400 千円
				一般	3,134 千円
【主な事業内容と成果】 国の「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」に基づき、児童1人1台のタブレット端末の整備を行った。 併せて、休校等の緊急時に備えて遠隔学習用のカメラマイクやモバイルルーターを整備した。 ＜支出内訳＞ ○GIGAスクール構想に基づく整備 ・小学校学習者用タブレット端末等整備 児童用3,041台、小学校教員用224台、小学校予備機45台購入 セット内容(①タブレット端末、②キーボード、③MDM(管理ソフト)、④ipocket(保存ソフト)) 児童用タブレット単価 @46,090円(1台) ・遠隔学習用カメラ&マイク購入 小学校教員用125台購入 ・家庭学習用モバイルルーター購入 児童用143台購入 ○ICT教育整備事業 ・小学校校務用パソコン89台購入(3年目)					



【タブレット端末の整備】

事業名	ICT教育環境整備事業(中学校)			決算額	110,911 千円
				所管課	学校教育課
財源内訳	国県	91,242 千円	市債 千円	その他 千円	19,100 千円
				一般	569 千円
【主な事業内容と成果】 国の令和2年度補正予算「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」に基づき、生徒1人1台のタブレット端末の整備を行った。 併せて、休校等の緊急時に備えて遠隔学習用のカメラマイクやモバイルルーターを整備した。 ＜支出内訳＞ ○GIGAスクール構想に基づく整備 ・中学校学習者用タブレット端末等整備 生徒用1,627台、中学校教員用150台、中学校予備機16台購入 セット内容(①タブレット端末、②キーボード、③MDM(管理ソフト)、④ipocket(保存ソフト)) 生徒用タブレット単価 @46,090円(1台) ・遠隔学習用カメラ&マイク購入 中学校教員用66台購入 ・家庭学習用モバイルルーター購入 生徒用37台購入 ○ICT教育整備事業 ・中学校校務用パソコン42台購入(3年目)					



【タブレット端末の整備】

事業名	総合型地域クラブスポーツ育成事業		決算額	50 千円
			所管課	生涯学習スポーツ課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	50 千円;一般 千円
【主な事業内容と成果】				
市民を対象として実施する大会等を開催し、スポーツの振興及び普及を図った。				
(単位:千円)				
総合型地域スポーツクラブ育成補助金			金額	
VAMOS福島スポーツクラブ			50	
計			50	

事業名	白河の歴史文化再発見事業(小学校)		決算額	692 千円
			所管課	学校教育課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般 692 千円

[主な事業内容と成果]

小学校15校の学習成果を新聞にして、4回に分けて市立図書館ロビーに掲示した。

○学習内容

小学1年生は地域のお年寄りの協力のもと、昔遊びを体験した。小学2年生は「しらかわ語りの会」などの外部講師の協力により昔話などの読み聞かせを行った。小学3年生は表郷の「鈴木家住居」「ふるさと文化伝承館」を訪問、4年生は社会科の学習と関連付けて、地域の昔のくらしや開拓などを調べてまとめた。小学5年生は白河茶道連盟や翠楽苑の協力を得て茶道体験を行い、伝統文化にふれた。小学6年生は小峰城・小峰城歴史館を中心とした白河の歴史探検や中山義秀記念文学館の訪問を実施した。

	(単位:千円)
事業内容	事業費
需用費	23
使用料及び賃借料	669
合 計	692

【「小野田っ子の自慢！東地区野出島史跡新聞」(タブレットを使って作成)】

事業名	白河の歴史文化再発見事業(中学校)			決算額	99 千円
				所管課	学校教育課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	99 千円

【主な事業内容と成果】

中学校8校が、白河の歴史や文化について学び、文化祭や「しらかわ未来フォーラム」で成果を発表した。
 中学3年生においては、小峰城歴史館見学を計画していたが、コロナ禍のため、3校の実施にとどまった。

○学習内容

中学1年生は「白河の古代」、中学2年生は「松平定信の業績」等について学んだ。中学3年生は、小峰城歴史館を見学した。



【しらかわ未来フォーラムでの太鼓の発表】

(単位:千円)

事業内容	事業費
使用料及び賃借料	99
合 計	99

事業名	「白河、あのことと今」事業			決算額	489 千円
				所管課	秘書広報課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	489 千円

【主な事業内容と成果】

過去の広報紙や市勢要覧などで使用された写真資源をデジタル化し、保全を図った。
 また、それらのデータからパネルを作成し、市内外の方が訪れる公共施設に展示した。
 展示後、問い合わせ等もあり、本市の街並みの移り変わりや暮らしぶりを視覚的にPRすることができた。

○写真パネル展示

マイタウン白河・旧脇本陣柳屋旅館
 市立図書館

令和3年2月20日～2月28日
 令和3年3月20日～3月30日



【写真パネル展示(マイタウン白河)】



【写真パネル展示(旧脇本陣柳屋旅館)】

事業名	文化交流館管理運営事業			決算額	166,943 千円
				所管課	文化振興課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	966 千円;一般	165,977 千円

[主な事業内容と成果]

白河文化交流館(コミネス)は、指定管理者特定非営利活動法人カルチャーネットワークが管理運営を行い、魅力ある各種事業等の開催や効率的な施設管理により、開館以来の来館者数は43万人、施設全体の稼働率は90.8%(全国平均約79.4%)を超え、芸術文化の振興拠点として一定の成果をあげることができた。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4事業が中止となったが、感染症対策を徹底することにより大部分の事業を実施した。

○事業の実績

事業名	開催日	備考(入場者等)
工藤静香 Acoustic Live Tour2020	令和2年7月19日(日)	中止
アルゼンチンタンゴ	令和2年7月29日(水)	入場者260人
ピアノ開放デー	令和2年8月9日(日)～ 令和2年8月10日(月祝)	参加者63人
こどもの夢コンサート 「オーケストラと遊ぼう」	令和2年8月1日(土)	入場者246人
早稲田大学交流事業	令和2年9月6日(日)	中止
劇団四季「人間になりたがった猫」	令和2年9月21日(月祝)	中止
白河まちなか音楽3days2020 ハナミズキ室内合奏団(9名)	令和2年11月1日(日)	入場者124人
白河まちなか音楽3days2020 中山貴踏(タップダンス)	令和2年11月1日(日)	入場者60人
白河まちなか音楽3days2020 名雪祥代クインテッドJAZZ	令和2年11月1日(日)	入場者108人
白河まちなか音楽3days2020 斉藤良+蓑輪単志(ロック&トーク)	令和2年11月2日(月)	入場者67人
白河まちなか音楽3days2020 ハナミズキ室内合奏団(4名)	令和2年11月3日(火祝)	入場者59人
白河まちなか音楽3days2020 東京混声合唱団特別演奏会	令和2年11月3日(火祝)	入場者186人
白河まちなか音楽3days2020 まちなか事業(ハリストス正教会、藤屋蔵他)	令和2年11月1日(日)～ 令和2年11月3日(火祝)	入場者648人
マスコミとの共催事業① 三浦祐太郎コンサート	令和2年11月15日(日)	中止
マスコミとの共催事業② 第6回笑門来福四人会(落語)	令和2年11月22日(日)	入場者516人
シュビュール室内合奏団	令和2年12月26日(土)	入場者499人
桂宮治落語会	令和3年1月21日(木)	入場者72人
ダンス活性化事業 ・ワークショップ ・「子ら子ら」公演	令和3年1月28日(木) 令和3年1月30日(土)	参加者5組 入場者41人
826aska Electone Live2020	令和3年2月13日(土)	入場者276人
風間杜夫落語独演会	令和3年2月20日(土)	入場者145人
第6回ハイスクール劇王	令和3年3月28日(日)	応募24校 上演5校 入場者138人
コミネス混声合唱団運営事業	通年	参加者50人
しらかわ演劇塾育成事業	通年	登録者28人
第5回公演「空の村号」他	令和3年3月27・28日(土日)	入場者341人
市民クラブ育成事業	通年	登録者28人
コミネス友の会運営事業	通年	個人会員653人 法人会員12社



【アルゼンチンタンゴ】



【こどもの夢コンサート】



【白河まちなか音楽3Days】

事業名	文化創造推進事業			決算額	2,458 千円
				所管課	文化振興課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	2,458 千円

【主な事業内容と成果】

「白河市文化創造都市宣言」、「白河市文化芸術推進条例」、「白河市文化芸術推進基本計画」に基づき、文化芸術の鑑賞、創造の機会を創出するため、コミネス指定管理者に文化創造推進事業の実施を委託した。なお、宝塚歌劇白河公演は、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

○事業の実績

事業名	開催日	備考(入場者等)
宝塚歌劇星組全国ツアー 白河公演	令和3年6月23日(火)	中止
フランチェスコ・メーリ テノールリサイタル	令和3年2月7日(日)	入場者198人



【フランチェスコ・メーリ
テノールリサイタル】

事業名	文化創造推進事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)			決算額	4,301 千円			
				所管課	文化振興課			
財源内訳	国県	4,301 千円	市債	千円	その他	千円	一般	千円

【主な事業内容と成果】

新型コロナウイルス感染症の影響により、宝塚歌劇等の事業が中止となり、さらに、外出を控え文化的な体験が難しい環境にいる市民に、ホールだけでなく施設として多くのポテンシャルを備えているコミネスにおいて映画を楽しんでいただく機会を提供するため、コミネス指定管理者にドライブ・イン・シアター等の開催を委託した。

【ドライブ・イン・シアターの会場】



○事業の実績

事業名	開催日	備考(入場者等)
ドライブ・イン・シアター企画 カギガタシアター 上映作品 「若おかみは小学生」、「マンマ・ミーア」、 「こま撮り映画こまねこ」、「カッパのクウと夏休み」ほか	令和2年8月30日(日)	入場者11人
	令和2年9月26日(土)	入場者36人
	令和2年9月27日(日)	入場者69人
	令和2年10月9日(金)	入場者37人
	令和2年10月10日(土)	入場者54人
ドライブ・イン・シアター(北側駐車場) 上映作品 「ムーミン谷の彗星」、「アメリ」、 「ソング・オブ・ザ・シー海の歌」、「ゾンビ」	令和2年10月24日(土)	入場車両64台
	令和2年10月25日(日)	入場車両44台

事業名	文化振興補助事業			決算額	2,992 千円			
				所管課	文化振興課			
財源内訳	国県	1,384 千円	市債	千円	その他	1,608 千円	一般	千円

[主な事業内容と成果]

ふるさと文化振興基金と福島県催事等支援事業補助金を活用し、文化活動を行う団体への支援として補助金を交付し、本市の文化振興を図った。

○補助の実績

(単位:千円)

補助事業者	実施事業	補助額
特定非営利活動法人 カルチャーネットワーク	しらかわSpring クラシックコンサート	2,992



【しらかわSpringクラシックコンサート】

事業名	文化団体連合会運営事業		決算額	500 千円
			所管課	文化振興課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般500 千円

【主な事業内容と成果】

4地域での文化芸術の振興を図るため、例年、加盟団体の活動成果発表及び市民の鑑賞機会を提供する下記の市民文化祭等を開催しているが、令和2年度については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの事業が中止となった。

(1) 白河市文化団体連合会主催文化祭

行事内容	開催日	会 場	備 考	参加人数等
白河市民芸能大会	-	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-
白河市総合美術展覧会	-	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-

(2) 文化団体連絡協議会主催文化祭 等

主 催	行事内容	開催日	備 考	参加人数等
白河文化団体連絡協議会	市民総合文化祭	8月～12月 (1件のみ2月)	【会場】マイタウン白河、公民館、書面開催等	700人
表郷文化団体連絡協議会	第22回芸能まつり	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-
	第64回 表郷文化祭	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-
大信文化団体連絡協議会	第44回 大信文化祭	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-
	加盟団体活動助成 (発表会等)	-	【会場】公民館 等	9団体
東文化団体連絡協議会	第50回 総合文化祭	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-
	芸能発表会	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-
	加盟団体活動助成 (発表会等)	-	【会場】公民館 等	8団体

事業名	しらかわ音楽の祭典			決算額	2,200 千円
				所管課	文化振興課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	2,200 千円
【主な事業内容と成果】 音楽文化の振興及び創造的・情操豊かな市民の育成、並びに音楽を通じた世代間の交流を図ることを目的として、第24回しらかわ音楽の祭典を、2部構成(第1部市民音楽祭・第2部震災復興音楽祭)で実施した。第2部では募金箱を設置し、小峰城城郭復元基金へ170,516円全額を寄付した。 「第24回しらかわ音楽の祭典」 場所 白河文化交流館コミネス 第1部 市民音楽祭 期日 令和2年11月7日(土) 出演団体 18団体 700人 観客数 1,500人 第2部 第9回震災復興音楽祭 期日 令和3年3月11日(木) ○市民ステージ 出演団体 15団体 400人 観客数 600人 ○ゲストステージ(小原 孝 ピアノコンサート) 観客数 600人					
				 【市民音楽祭:特別プログラム (仮称)市民オーケストラ】	

事業名	市民オーケストラ設立準備事業			決算額	7,696 千円
				所管課	文化振興課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	5,000 千円;一般	2,696 千円

[主な事業内容と成果]

令和3年度市民オーケストラの設立を目指すにあたり、その前身となるオーケストラを組織し、子供から大人までが参加し市民レベルでの音楽を通じた地域コミュニティの活性化を図った。また「しらかわ音楽の祭典第1部」で演奏を披露した。なお、大型楽器は、(株)NTTドコモ「東北応援社員募金」自治体寄付により購入し、市民オーケストラの活動の自主性・自立性の向上を図った。

○しらかわ音楽の祭典第1部

月 日 令和2年11月7日(土)

会 場 白河文化交流館コミネス大ホール

曲 目 チャイコフスキー 交響曲第5番

指揮・指導 大竹 晃司

【しらかわ音楽の祭典第1部】



○参加者構成表

	弦楽器	木管楽器	金管楽器	打楽器	合計
一般	23人	14人	10人	1人	48人
小中学生	37人	2人	2人	-	41人

○楽器購入

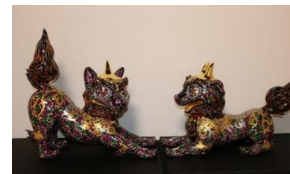
楽器名	数量	楽器名	数量
ティンパニー	4台	コンサートスネアドラム	1台
コンサートバスドラム	1台	銅鑼	1台
コンサートシロホン	1台	オーケストラチャイム	1台
グロッケンシュピール	1台	タンバリン ほか	
コンサートシンバル	3組	合 計	5,018千円

事業名	芭蕉白河の関俳句賞			決算額	651 千円
				所管課	文化振興課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	651 千円
【主な事業内容と成果】 第2回目となる令和2年度「芭蕉白河の関俳句賞」は、「源義経・義家伝説」(ジュニアの部においては自由句)をテーマに全国から俳句を募集した。さらに、「みちのく」をテーマに海外特別賞を創設し、海外作品の募集も行った。また、俳句を通じて交流人口を増やす試みとして俳句教室を実施したほか、受賞者を招待しての表彰式と当日投句会を同時開催した。					
行事内容	開催日	会場	備考	参加人数(人)	
俳句教室 (講師:雲取主宰 鈴木太郎氏) 午前:初心者教室 午後:中級者教室	8月13日(木) 10月8日(木) 11月12日(木)	白河商工会議所 会議室	俳句の作り方、例句の鑑賞、句会の開催など。	初心者:10 中級者:17	
上記俳句教室での市内吟行	9月10日(木)	白河の関 硯石磨崖三十三観音 建鉢山祭祀遺跡	各史跡で俳句を創作し、その場で講師の指導を受けた。	25	
俳句賞 表彰式	11月29日(日)	コミネス小ホール	応募総数 一般の部 834句(298人) 一般の部(海外)157句(56人) ジュニアの部3,143句(2,008人)	100	
当日投句会	11月29日(日)	コミネス小ホール	投句受付 10:00~12:00 披講・選評 13:45~15:15 投句者 66人	100	

事業名	風月の芸術祭(福島ビエンナーレ2020)開催事業			決算額	3,000 千円
				所管課	文化振興課
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	3,000 千円
【主な事業内容と成果】 白河市の歴史や文化を基盤とした芸術作品の創作、鑑賞、体験等の機会を創出することで、市民が地域や文化芸術に対する関心を高め、地域に芳醇な文化を实らせるため芸術祭を開催し、併せてSNSを活用し全国に発信した。 ○開催日 令和2年9月26日(土)~令和2年11月3日(火祝)					
場所	アーティスト	作品			
本町銀座商店街	荒井 経 ほか10名	アーティストだるま			
	市内高校生	だるま切絵フラッグ			
小峰城跡	ヤノバケンジ×ダルライザー	コマライザー(造形物、AR)			
旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷	福井利佐	だるま(切絵)			
	千葉清藍	祈(書)			
	依典子	方丈記(絵画)			
	小松美羽	山犬様(立体物)			
コミュニティカフェ・EMANON	岩根愛	南湖の松(写真)			
龍興寺	岡村桂三郎	地の魚(絵画)			
常宣寺	金子富之	大舞虎(絵画)			
白河ハリストス正教会	山下りん	イコン開示			



【伊藤有壱・アーティストだるま】



【小松美羽・山犬様相思相愛】

事業名	文化振興・育成事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)			決算額	7,084 千円
				所管課	文化振興課
財源内訳	国県	7,084 千円	市債	千円	その他 千円
一般					

</

Ⅲ 人と地域のつながりをつくる

※事業費は決算ベース

Ⅲ-1

事業名	観光物産PR事業			決算額	6,129 千円
				所管課	観光課
財源内訳	国県	千円:市債	千円:その他	千円:一般	6,129 千円

[主な事業内容と成果]

新型コロナウイルスの影響により、各種イベントが中止となり活動が大幅に縮小された。そのよう中で、本市の三史跡の魅力発信に努めて、コロナ収束後の誘客に繋げる活動を行った。

(令和2年度主なイベント)

イベント名	期間	内容
かたくりまつり	4月4日～5日	中止
小峰城さくらまつり	4月19日	中止
行田蓮まつり(埼玉県行田市)	7月7日	中止
白河関まつり(市民納涼花火大会、踊り流し)	8月5日	中止
しらかわマルシェ	9月27日	規模縮小
ドライブスルーしらかわマルシェ	10月25日	実施
翠楽苑紅葉ライトアップ	11月1日～8日	実施
白河だるま市	2月11日	中止

【しらかわ三史跡巡り】

し
ら
か
わ
三
史
跡
巡
り

小峰城跡

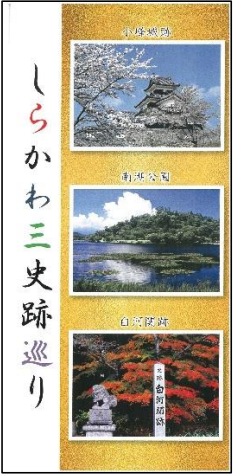


南河原公園



白河関跡





事業名	白河観光物産協会支援事業		決算額	21,009 千円
			所管課	観光課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般 21,009 千円
【主な事業内容と成果】 コロナ禍ではあったものの、観光客に対する観光案内や市内ボランティアガイド(ツーリズムガイド白河)の手配、電話対応による市内外の観光名所案内並びにパンフレット等の発送を行った。また、市や観光ボランティアガイド等と連携し、パンフレット等を有効活用した市内回遊の案内等も実施した。 ○主な事業実績 ・観光案内所来客数 8,785人 ・レンタサイクル稼働数 732件 クロスバイク稼働数 21件 ・マスメディアの活用による観光情報の発信 ・ホームページ、観光パンフレットの充実による魅力発信事業の実施 ※ホームページ閲覧数 505,338件 ・観光諸団体との連携及び調整 ・観光ボランティアガイドとの連携 ※コロナウイルスの影響により活動休止				

事業名	「福が満開、福のしま。」ふくしま観光キャンペーン推進事業			決算額	4,076 千円
				所管課	観光課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	2,776 千円;一般	1,300 千円

[主な事業内容と成果]

「ふくしま県南観光推進協議会」への補助を通し、平成27年春に開催された「ふくしまデスティネーションキャンペーン」にて取り組んだ東日本大震災による観光風評被害の払拭と本地域への観光需要の喚起を図る取り組みを活かし、キャンペーン閉幕後も広域観光連携を持続させ、みちのくの玄関口である本地域の特性を活かした観光誘客を図った。

○しらかわエリアフォトコンテスト実施事業

県南地方で撮影された写真をInstagram上で募集し、1,000件以上の投稿があった。

(1)しらかわエリアフォトコンテスト 募集期間:令和2年8月22日～11月30日

(2)写真展 郡山フェスタ、白河市立図書館、棚倉町立図書館

(3)フォトブック 1000部作成

○インバウンド向けHP作成事業

本協議会のホームページをリニューアルし、観光スポット以外にも特集ページを設けて、最新の情報を発信できるようにした。



【フォトコンテスト協議会長賞】

事業名	南湖公園魅力再発見事業		決算額	1,622 千円	
			所管課	観光課	
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	1,622 千円

[主な事業内容と成果]

○ 事業内容

南湖公園の魅力を広く発信し、誘客促進や地域活性化に繋げることを目的に「南湖公園魅力発信事業実行委員会」を設立し、コロナ対策を講じながら各種事業を実施した。

○ 成果

「ふくしま緑の百景歩こう会」 ※令和2年10月17日開催

南湖公園から小峰城を経由し、歴史ある街なみを堪能できる約10kmのウォーキングイベントを開催。雨の中380人の参加があり、普段歩くことの少ない遊歩道からの景色など、参加者からは好評であった。

「渋沢栄一講演会」 ※令和3年2月14日開催

(公財)渋沢栄一記念財団・渋沢史料館の副館長を招き、渋沢栄一はなぜ松平定信を敬愛したのかなどの講演をいただき、参加者(100人)からは、渋沢の思いや理念などを知ることが出来たと好評であった。

「南湖公園PRツール作成」

南湖公園をPRするため、「ポスター」「パンフレット」「のぼり旗」を作成し、南湖公園のPRや公園内の雰囲気醸成に努めた。

「広域連携事業」

埼玉県深谷市や渋沢栄一記念館を訪問し、定信公と渋沢翁の関係や南湖公園をPRすると共に、観光資源を活用した交流について協議した。





【南湖公園パンフレット】

【のぼり】

事業名	フィルム・コミッション事業		決算額	3,300 千円
			所管課	観光課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般
				3,300 千円
【主な事業内容と成果】 ○ 事業内容 本市の魅力的な資源を活かし、映画やCMの撮影を誘致することにより、「撮影に使われた地」として、観光客の誘客を目指し、地域経済の活性化に繋げる。 当該事業は「しらかわフィルムコミッション」として、ダルライザープランニングに業務委託し、HPの運営や制作会社へのPR、撮影時の支援、各種許認可手続き案内などを行った。 ○ 成果 ・TV番組 7件 「ゴジてれ」「サタふく」など ・CM 4件 ダイハツ自動車CM(全国放送)など ・雑誌等 1件 新幹線内情報誌「トランベール」 ・その他 7件 ANA全日空機内放送、web動画など ※上記のほか、「撮影支援業務」としてエキストラ登録や撮影機材の貸出を実施。  【全国放送のダイハツCM】  【KFBのCM大賞「東邦銀行賞」受賞】 令和元年度にホームページを立ちあげたことにより、撮影協力・相談の「窓口」が出来たため、映像制作会社などからの問い合わせが増加した。 白河駅で撮影されたダイハツのCMは全国で放送され、SNSなどで大きな話題となり、多くの人々が白河駅へ訪れ同じアングルで写真を撮影するなど観光客の誘客に繋がった。また、CM撮影協力後、他の制作会社から新たな撮影の協力依頼があるなど大きなパイプが構築された。				

事業名	アジアインバウンド誘致事業		決算額	989 千円
			所管課	観光課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般
				989 千円
【主な事業内容と成果】 ○事業内容 県南地域の地域資源を活用した着地型観光の振興により、新たな地域の「稼ぐ力」を引き出すため、本地域におけるゴルフを核とした滞在型周遊観光の実現に向けて、ふくしま県南観光推進協議会を中心に行政や地域住民、民間事業者と連携を取りながら、ゴルフと歴史・文化などの観光資源・体験を組み合わせた旅行商品の情報発信を行った。 ○成果 ・ゴルフのYouTubeチャンネルで登録者数3万人を超える井上莉花をインフルエンサーで招聘し、YouTubeを活用して県南地域の観光資源を魅力的に情報発信した。 ・YouTubeで約20分の動画を4本制作し、約2万回の視聴回数が得られた。 ・本動画で「楽しく周遊」している様子を、海外旅行代理店にも情報発信し、コロナ収束後、本地域への誘客につなげるためプロモーション活動も行い、豊富な自然環境について大変好評を得た。  【ゴルフ(白河市)】  【だるま絵付け(白河市)】  【ダリア染め(塙町)】  【マス釣り(西郷村)】				

事業名	景観形成事業		決算額	43 千円
			所管課	都市計画課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般
				43 千円

【主な事業内容と成果】

次世代を担う子どもたちに「まち」や良好な「景観」に対して関心を持たせ、景観やまちづくりへの意識を高めてもらうことを目的として、白河第一小学校6年生と釜子小学校4年生を対象に景観学習事業の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

その代替事業として、日本大学工学部の協力のもと「白河の景観リーフレット」を作成し、希望する小学校へ配布するとともに、市ホームページに掲載し、景観に関する意識の醸成に努めた。



【白河の景観リーフレット】

事業名	歴史的まちなみ修景事業		決算額	600 千円
			所管課	都市計画課
財源内訳	国県	240 千円;市債	千円;その他	千円;一般
				360 千円

【主な事業内容と成果】

景観計画推進区域である中心市街地は、旧奥州街道などを中心として歴史的建造物の商家や蔵などが多く存在し、旧城下町としての景観を色濃く残している。

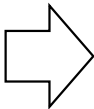
これら歴史的建造物と現代の街並みが調和する良好な景観を形成するため、景観形成ガイドラインや地域の景観協定に基づく建造物等の修景等に対して補助を行った。

○補助概要

- ・補助率 1/2
- ・限度額
 - 建築物の新築等、外観修景
 - 1,000千円(特定区域)
 - 800千円(景観協定区域)
 - 建築設備、外構等修景
 - 300千円(特定、景観協定区域)
- ・補助件数 2件 (外構2件)
- ・補助額 600千円



【板塀の設置】

事業名	歴史的風致形成建造物保存修景事業		決算額	20,807 千円
			所管課	まちづくり推進課
財源内訳	国県	7,484 千円;市債	千円;その他	千円;一般
				13,323 千円
【主な事業内容と成果】 旧奥州街道や歴史的街路沿線に面する歴史的な建造物について、歴史まちづくり法に基づき「歴史的風致形成建造物」に指定し、所有者が行う建造物の修理・修景整備に対して支援を行い、歴史的風致の維持向上を図った。 ○補助率 1/2（限度額3,000千円） ○修復整備件数 8棟 ※補助対象8棟の内4棟については令和元年度から繰越 ○補助額 18,713千円 ※内11,000千円は令和元年度から繰越				
  				
【施工前】			【施工後】	

事業名	白河歴史教科書作成事業		決算額	378 千円
			所管課	まちづくり推進課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	300 千円;一般
				78 千円
【主な事業内容と成果】 白河の歴史と伝統文化に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、歴史まちづくり計画の内容を基本とした白河歴史の手引き『れきしら』を販売した。また、『れきしら』から問題を出題する「第5回しらかわ検定」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期した。 ○令和2年度 販売実績 入門編 199冊(累計2,805冊) 上級編 176冊(累計1,917冊) 合 計 375冊(累計4,722冊) ○第5回しらかわ検定(新型コロナウイルス感染症の影響により延期) 期日 令和3年1月23日(土) 申込者数 【3級】79人 【2級】56人 【1級】20人 合計155人				
 【白河歴史の手引き れきしら】 ○しらかわ検定受験者数の推移 第1回(平成28年度) 182人 第2回(平成29年度) 225人 第3回(平成30年度) 183人 第4回(令和元年度) 149人				

事業名	旧脇本陣柳屋旅館建造物群管理事業		決算額	3,112 千円	
			所管課	まちづくり推進課	
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	22 千円;一般	3,090 千円

【主な事業内容と成果】

本市を代表する歴史的資源として一般公開及び貸館の用に供し、市民や観光客のまちなか回遊拠点として活用するため、蔵座敷の施設管理業務委託や庭園の維持管理を行った。

○一般公開の状況

開館時間	見学:午前10時～午後4時、貸館:午前8時～午後8時
休館日	月曜日(祝日の場合は翌火曜日)、年末年始
見 学	無料(貸館利用時には一部制限あり)
貸 館	有料(事前申込)
管理形態	委託(シルバー人材センター)

○利用実績

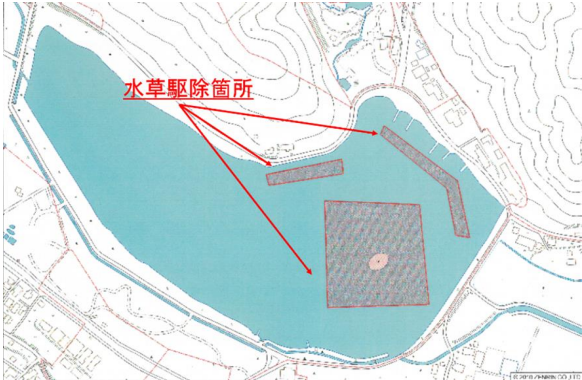
区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合 計
一般公開	2,620人	1,659人	1,334人	5,613人
貸 館	12件 274人	2件 77人	11件 250人	25件 601人
合 計	2,894人	1,736人	1,584人	6,214人



【貸館利用の様子】

事業名	街路事業(交付金)		決算額	155,032 千円
			所管課	都市計画課
財源内訳	国県	61,373 千円;市債	82,800 千円;その他	千円;一般 10,859 千円
【主な事業内容と成果】 国道294号から城山公園、コミネス駐車場へとアクセスするシンボルロードとして位置づけ整備を進めており、物件移転補償および用地取得、道路改良工事を行った。				
 【移転補償工事前】			 【移転補償工事後】	

事業名	南湖公園水質等保全調査事業		決算額	1,018 千円
			所管課	文化財課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般 1,018 千円
【主な事業内容と成果】 南湖公園の水質等の保全のため、県内大学と共同研究を行った。令和2年度は、日本大学と福島大学にそれぞれ調査を委託した。 日本大学は、「南湖の水質保全を目指した効果的な池干し方法の検討」をテーマとし、池干しが底質と湛水後の水質に及ぼす影響について把握するとともに、効果的な池干し方法について具体案を提示することができた。 福島大学は、「南湖流域の生物多様性と保護上重要な植物の保全および外来植物対策に関する基礎研究」をテーマとして、南湖上流水路の植物相調査を行い、南湖における侵略的外来植物の種類と分布状況を明らかにするとともに、水路の環境改善の必要性についても指摘した。				
				
			【現地調査状況(日本大学)】	

事業名	南湖公園外来種駆除事業		決算額	2,651 千円
			所管課	文化財課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般 2,651 千円
【主な事業内容と成果】 南湖公園の環境及び景観の保全を図るため、生態系のバランスを配慮しながら、繁茂した水生植物の刈り取りを行った。また、刈り取りの実施にあたっては、在来種、希少種を保護するため、学識経験者の指導を得た。 ○実施日 令和2年7月20日～7月22日 ○実施内容 御影島周囲のイバラモ・ヒシの刈り取り、湖面北側のスイレンの刈り取りを行った。				
				
【水草駆除実施範囲】			【刈取船による作業状況】	

事業名	無形民俗芸能等支援事業		決算額	365 千円
			所管課	文化財課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般 365 千円
【主な事業内容と成果】 ○事業内容 市内で伝承されている民俗芸能や年中行事などの無形の民俗文化財等について、文化財の指定にかかわらず、行事の実施に対して支援を行った。新型コロナウイルスの流行により、行事内容の変更や規模を縮小して実施した行事に対しても、基準額の2分の1の金額を支援した。また、行事の実施にあわせ現地において民俗調査を実施することにより、当該行事に関する情報を収集した。 ○成果 支援した行事:10行事 調査した行事:18行事(うち3行事が規模縮小) ※調査を行った行事のうち、実施等への支援希望があり、芸能などを伴う行事に対して支援を実施した。				
 【河東田のアタゴサマ】  【関辺のさんじもさ踊り】 (神事のみに縮小)  【釜子の盆踊】 (入場者制限・オンライン配信)				

事業名	小峰城跡石垣修復整備事業		決算額	185,563 千円	
			所管課	文化財課	
財源内訳	国県	126,384 千円;市債	千円;その他	千円;一般	59,179 千円

【主な事業内容と成果】

史跡整備に合わせて、経年劣化による変形が顕著となった石垣の修復を行った。
令和2年度は、帯曲輪北東部の矢之門跡南側石垣の解体および積み上げ工事を行った。また、令和元年度の繰越事業として、帯曲輪北西部の水懸口北面石垣の積み上げ工事を行った。





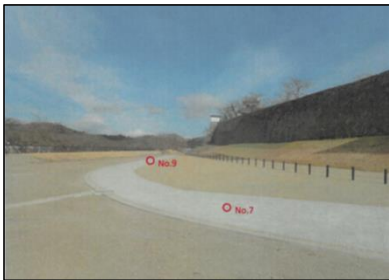
【矢之門石垣修復完了状況】

【水懸口北面石垣修復完了状況】

事業名	内容	事業費 (千円)	財源内訳(千円)			
			国県	市債	その他	一般
小峰城跡石垣 修復整備事業	会計年度任用職員報酬等	5,995	126,384			59,179
	石垣検討委員会開催等	223				
	需用費	7,196				
	発掘調査等	1,386				
	工事請負費	170,763				
合計		185,563	126,384			59,179

事業名	小峰城史跡整備事業			決算額	56,378 千円
				所管課	文化財課
財源内訳	国県	28,175 千円;市債	13,900 千円;その他	千円;一般	14,303 千円

【主な事業内容と成果】
整備基本計画に基づき、小峰城跡の史跡整備を行った。
令和2年度は、帯曲輪北西部の整備を行うとともに、石垣の顕在化を目的として、小峰城跡東側丘陵地北側斜面の樹木伐採を実施した。



【園路等竣工後状況】



【東側丘陵地樹木伐採後状況】

(単位:千円)

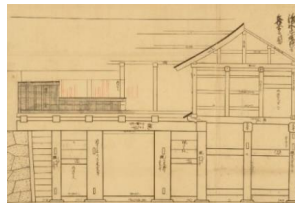
事業名	内 容	事業費	財源内訳			
			国	市債	その他	一般
小峰城史跡整備事業	・整備指導委員会開催等	82	28,175	13,900		14,303
	・樹木伐採業務委託	24,618				
	・園路等整備工事	31,678				
合 計		56,378	28,175	13,900		14,303

事業名	清水門復元整備事業			決算額	8,279 千円
				所管課	文化財課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	8,279 千円;一般	千円

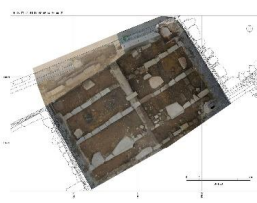
【主な事業内容と成果】

白河城御櫓絵図や発掘調査成果を元に史実に基づいた復元を目指し、令和2年度から2か年事業で清水門復元整備基本設計業務委託に着手した。

また、清水門の復元に際し、市民参加を呼びかけるため、寄附を募る小峰城一石城主プロジェクトを6月より開始した。



【清水門建絵図】
(「白河城御櫓絵図」より)



【清水門礎石確認状況】
(発掘調査成果より)



【小峰城一石城主プロジェクト城主証】

(単位:千円)

事業名	内 容	事業費	財源内訳			
			寄附金	繰入金	諸収入	一般
清水門復元整備事業	旅費	33	7,862	232	185	
	消耗品費	11				
	印刷製本費	372				
	基本設計業務委託	7,863				
	合 計	8,279	7,862	232	185	

事業名	旧小峰城太鼓櫓整備事業		決算額	9,870 千円				
			所管課	文化財課				
財源内訳	国県	3,072 千円	市債	1,300 千円	その他	310 千円	一般	5,188 千円

【主な事業内容と成果】

太鼓櫓は小峰城の建造物の中で、唯一現存する重要な櫓であるが、老朽化が激しく、また、土砂災害特別警戒区域内にあることから公開活用のため、区域外に移築するもの。

令和2年度は、移築に向けて建造物の解体と部材カルテの作成を行った。



【解体工事施工状況】



【解体部材保管状況】

(単位:千円)

事業名	内容	事業費	財源内訳			
			国県	市債	その他	一般
旧小峰城太鼓櫓整備事業	需用費	17				17
	設計委託料	3,850	1,001	1,300	310	1,239
	警備委託料	223				223
	プレハブ賃借料	268				268
	文化財修復工事費	5,512	2,071			3,441
合計		9,870	3,072	1,300	310	5,188

(再掲)

事業名	小峰城歴史館特別企画展開催事業			決算額	469 千円			
				所管課	文化財課			
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	469 千円

【主な事業内容と成果】

特別企画展「福島県立美術館の名画たち—関根正二と洋画・日本画の名品—」

県立美術館のコレクションから、白河市出身の洋画家・関根正二を中心とした日本の近代洋画や、近世から近代にかけての日本画の名品を精選して紹介した。関根正二について、国内有数の規模を誇る県立美術館のコレクションから、ほぼすべての油彩画作品を展示した。また、今年3月に市の重要文化財に指定された関根正二「老夫妻像」を、指定後はじめて公開した。

県立美術館が解説動画を撮影し、館内ロビーのほかYOUTUBE県美公式チャンネルで公開し、白河市公式チャンネルや市HP内に動画リンクを掲載した。入館者数4,244人

※6月上旬から7月上旬に実施予定だった特別企画展「今井珠泉展」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を延期した。



【展示室2 関根正二と洋画の名品】



【展示室3 日本画の名品】



【ロビーでの紹介動画放映】

Ⅲ-2

事業名	定住・二地域居住推進事業	決算額	1,272 千円
		所管課	企画政策課
財源内訳	国県 千円;市債 千円;その他 千円;一般 千円		1,272 千円
【主な事業内容と成果】 移住希望者に本市の魅力を伝え、定住・二地域居住の推進を図るため、暮らし体験住宅の設置・運営や移住関連イベントへの出展を行った。 ○暮らし体験住宅の設置・運営 1,162千円 本市への移住を検討している方に本市での日常生活を体験できる機会を提供するため、東地域内に暮らし体験住宅を設置するとともに、利用者が快適に過ごすことができるよう管理・運営を行った。 ・場 所 白河市東下野出島字石原83番地 ・利用期間 1週間以上1ヶ月以内 ・利 用 料 7千円/週 ・利 用 者 3組5人(福島市、越谷市、江東区) ○移住関連イベントへの出展 110千円 都内会場で移住検討者向けの集客イベントに参加を予定していたが、緊急事態宣言発令により急遽オンラインイベントでの開催となった。 ・相談件数 1件			



【暮らし体験住宅】

事業名	定住・二地域居住推進事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	決算額	8,391 千円
		所管課	企画政策課
財源内訳	国県 8,391 千円;市債 千円;その他 千円;一般 千円		千円
【主な事業内容と成果】 ○白河市移住・定住ポータルサイト「おかえり、白河」の制作 4,295千円 移住を検討している方に本市の魅力を発信するため、暮らしの情報や各種助成制度などを取りまとめたポータルサイトを開設した。 また、ポータルサイトの開設にあわせて移住・定住ガイドブックを制作した。 ○白河市移住コーディネーターの設置 990千円 移住コーディネーターを設置し、本市への移住を検討している方や市内で実際にテレワークを体験した方に各種支援制度の案内などを行った。また、都内でイベントを開催し、市内でテレワークや二地域居住を実践する方の生活スタイルを発信した。 ○引越支援事業補助金 3,106千円 県外から本市へ移住した方に対し、引越にかかる金銭面での負担を軽減するため、引越費用の補助を行った。 ・件数27件 ・移住者数38人			



【移住・定住ポータルサイト「おかえり、白河」】

事業名	空き家対策事業		決算額	5,690 千円
			所管課	まちづくり推進課
財源内訳	国県	384 千円;市債	千円;その他	千円;一般 5,306 千円
【主な事業内容と成果】 空家の利活用促進や発生抑制、特定空家化の防止を図るため、各種事業を実施した。 ○空家バンク制度の運営 ・(公社)福島県宅地建物取引業協会白河支部と連携し、空家の流通促進を図るため、空家バンクを運営した。 (令和2年度の実績) 物件登録数 18件(累計68件) 利用登録件数 41件(累計131件) 成約件数 15件(累計35件) ○空家改修等支援補助事業 ・空家バンクに登録された物件の購入者や賃借者等が実施する改修に対する支援を行った。 令和2年度補助件数:6件(実績額4,958千円) ○空家解体費補助金 ・良好で快適な生活環境の形成を図るため、解体費補助を通じて老朽空家の自主解体を促進した。 令和2年度補助件数:1件(実績額100千円) ○空家対策啓発冊子の作成 ・空家にしないための対策や管理、利活用など空き家に関する様々な情報を掲載した啓発冊子を作成し、市内全戸配布及び市内空家の所有者に送付した。 また、あわせて冊子の内容を分かりやすく説明した動画を作成した。 ○空家セミナーの開催 ・専門家を講師に招き、主に空家所有者に向けて空家の現状や適正管理、相続、利活用方法等についてのセミナーを開催した。 ○空家相談会の開催 ・空家に関する幅広い相談に専門家が答える総合的な相談会を開催した。				
				 【空家セミナーの開催】

(再掲)

事業名	UIターン就活促進事業		決算額	239 千円
			所管課	商工課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般 239 千円
【主な事業内容と成果】 地元企業の人材確保とともに、定住と就職の促進を図るため、首都圏でのイベント参加や大学訪問、UIターン希望者が市内で面接を行う際の交通費の一部を補助した。 ○大学訪問・支援機関への広報活動 県内及び隣県等の大学や専門学校および移住・交流情報ガーデン、ふるさと福島就職情報センターなど支援機関に対し、市内企業の採用情報や交通費補助金について周知を図った。 ○交通費補助金 UIターン希望者が市内で面接を行う際の交通費に対して補助金を交付した。(11件、101千円) ○LINEによる情報発信 市内企業の情報発信として、採用情報や企業紹介などを毎月発信した。また、イベント情報なども合わせて発信した。				

事業名	まちなか居住支援事業		決算額	976 千円
			所管課	まちづくり推進課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般 976 千円

[主な事業内容と成果]

中心市街地での快適な暮らしを支援し、子育て世代の中心市街地への定住を促進し、活力あるまちづくりを図るため、中心市街地内の民間賃貸住宅に入居する「子育て世代」に対し、家賃の補助を行った。

○子育て世代賃貸住宅家賃補助 976 千円

主要要件 他市町村より転入し、1年以内に白河市中心市街地活性化区域内の民間賃貸住宅へ入居した次のいずれかの世帯。
①満18歳未満の子どもと同居する世帯で、子どもを扶養する父又は母のいずれかが世帯主の世帯
②同居する夫婦のいずれかが満40歳以下で、当該夫婦のいずれかが世帯主の世帯

補助内容 家賃から共益費や勤務先からの住宅手当等を差し引いた額の4分の1
上限額は、集合住宅が月額13,000円、戸建住宅が月額17,000円

補助期間 認定の属する月から最長36ヶ月分(毎年、年度末に交付申請が必要)

補助実績 単位:千円

	住宅種別	認定世帯	補助金額
1	集合住宅	9戸	976
2	戸建住宅		
合計			976

(再掲)

事業名	三世代同居等支援事業		決算額	8,150 千円	
			所管課	建築住宅課	
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	8,150 千円
[主な事業内容と成果] 三世代の同居・近居の増加を推進することにより、子育て環境の充実及び高齢者支援の促進並びに住環境の向上及び定住促進を図るため、子世帯と親世帯が同居又は近居するために住宅の取得又は増改築リフォームを行う世帯に対して補助を行った。					
(令和2年度実績) ・補助件数 13件					

事業名	来て「しらかわ」住宅取得支援事業		決算額	33,318 千円		
			所管課	建築住宅課		
財源内訳	国県	6,500 千円;市債	千円;その他	千円;一般	26,818 千円	
【主な事業内容と成果】 本市における移住・定住の促進、地域の活性化、良質な住宅ストックの形成を図り、もって人口減少対策と地方創生の実現に寄与するために、県外から市内へ・市外から市内へ移住する世帯に対して、住宅取得に要する費用の一部について補助を行った。						
(令和2年度実績)		・補助件数 39件	(単位:千円)			
事業名	内 容	事業費	財 源 内 訳			
			国	県	その他	一般
来て「しらかわ」住宅取得支援事業	住宅取得費用の助成(県外からの移住者には県の補助の上乗せあり)	33,318		6,500		26,818
(県外・市外の内訳)						
県外:11件						
市外:28件						

(再掲)

事業名	新婚生活支援事業		決算額	2,001 千円				
			所管課	建築住宅課				
財源内訳	国県	900 千円	市債	千円	その他	千円	一般	1,101 千円

【主な事業内容と成果】

若者の定住促進及び、少子化対策の促進を図ることを目的として、若年及び敵所得の新婚世帯に対して新婚に伴う新生活のスタートアップに要する費用の一部について補助を行った。

(令和2年度実績)・補助件数 7件 (単位:千円)

事業名	内 容	事業費	財 源 内 訳			
			国	県	その他	一般
白河市新婚生活スタート応援事業	結婚を機に市内で新生活を始める新婚世帯に住居費や引越費用の補助を行う	2,001		900		1,101

(内訳)

新居取得 : 1件

新居賃貸契約(敷金・礼金) : 6件 (重複有)

新居家賃 : 6件 (重複有)

新居引越(業者支払) : 1件 (重複有)

Ⅲ-3

事業名	広報白河発行业務		決算額	15,116 千円	
			所管課	秘書広報課	
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	6,449 千円;一般	8,667 千円
【主な事業内容と成果】					
写真やイラストを効果的に活用し、より読みやすく、分かりやすい紙面構成に努めた。					
○広報白河	5月1日号～ 4月1日号	23,400部(フルカラー)／月×12ヶ月			
○広報白河臨時版	5月13日号	23,400部(モノクロ)			
  					
【広報白河11月号】		【広報白河臨時版】		【広報白河7月号特集】	

事業名	ご当地ナンバー導入事業		決算額	1,082 千円
			所管課	企画政策課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般
				1,082 千円
[主な事業内容と成果] 白河ナンバーの普及促進を図るため、交付開始発表会や、公用車ナンバープレートの変更を実施した。また、地元でナンバープレートの交換ができる「白河ナンバー出張交換会」を開催した。 ○ご当地ナンバー導入事業費負担金 243千円 ○公用車のナンバープレート変更手数料等 836千円 ○その他経費 3千円 ＜白河ナンバー交付開始発表会の開催＞ ・開催日：令和2年5月11日（月） ・場 所：白河市役所 第2応接室 ＜白河ナンバー出張交換会の実施＞ ・開催日：令和2年10月24日（土） ・場 所：白河の開トラックステーション（泉崎村） ・交換台数：登録自動車17台、軽自動車49台  【白河ナンバー交付開始発表会】  【白河ナンバー出張交換会】				

(再掲)

事業名	芭蕉白河の関俳句賞		決算額	651 千円																									
			所管課	文化振興課																									
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般																									
				651 千円																									
[主な事業内容と成果] 第2回目となる令和2年度「芭蕉白河の関俳句賞」は、「源義経・義家伝説」(ジュニアの部においては自由句)をテーマに全国から俳句を募集した。さらに、「みちのく」をテーマに海外特別賞を創設し、海外作品の募集も行った。また、俳句を通じて交流人口を増やす試みとして俳句教室を実施したほか、受賞者を招待しての表彰式と当日投句会を同時開催した。																													
<table><tr><th>行事内容</th><th>開催日</th><th>会場</th><th>備考</th><th>参加人数(人)</th></tr><tr><td>俳句教室 (講師:雲取主宰 鈴木太郎氏) 午前:初心者教室 午後:中級者教室</td><td>8月13日(木) 10月8日(木) 11月12日(木)</td><td>白河商工会議所 会議室</td><td>俳句の作り方、例句の鑑賞、句会の開催など。</td><td>初心者:10 中級者:17</td></tr><tr><td>上記俳句教室での市内吟行</td><td>9月10日(木)</td><td>白河の関 硯石磨崖三十三観音 建鉾山祭祀遺跡</td><td>各史跡で俳句を創作し、その場で講師の指導を受けた。</td><td>25</td></tr><tr><td>俳句賞 表彰式</td><td>11月29日(日)</td><td>コミネス小ホール</td><td>応募総数 一般の部 834句(298人) 一般の部(海外)157句(56人) ジュニアの部3,143句(2,008人)</td><td>100</td></tr><tr><td>当日投句会</td><td>11月29日(日)</td><td>コミネス小ホール</td><td>投句受付 10:00~12:00 披講・選評 13:45~15:15 投句者 66人</td><td>100</td></tr></table>					行事内容	開催日	会場	備考	参加人数(人)	俳句教室 (講師:雲取主宰 鈴木太郎氏) 午前:初心者教室 午後:中級者教室	8月13日(木) 10月8日(木) 11月12日(木)	白河商工会議所 会議室	俳句の作り方、例句の鑑賞、句会の開催など。	初心者:10 中級者:17	上記俳句教室での市内吟行	9月10日(木)	白河の関 硯石磨崖三十三観音 建鉾山祭祀遺跡	各史跡で俳句を創作し、その場で講師の指導を受けた。	25	俳句賞 表彰式	11月29日(日)	コミネス小ホール	応募総数 一般の部 834句(298人) 一般の部(海外)157句(56人) ジュニアの部3,143句(2,008人)	100	当日投句会	11月29日(日)	コミネス小ホール	投句受付 10:00~12:00 披講・選評 13:45~15:15 投句者 66人	100
行事内容	開催日	会場	備考	参加人数(人)																									
俳句教室 (講師:雲取主宰 鈴木太郎氏) 午前:初心者教室 午後:中級者教室	8月13日(木) 10月8日(木) 11月12日(木)	白河商工会議所 会議室	俳句の作り方、例句の鑑賞、句会の開催など。	初心者:10 中級者:17																									
上記俳句教室での市内吟行	9月10日(木)	白河の関 硯石磨崖三十三観音 建鉾山祭祀遺跡	各史跡で俳句を創作し、その場で講師の指導を受けた。	25																									
俳句賞 表彰式	11月29日(日)	コミネス小ホール	応募総数 一般の部 834句(298人) 一般の部(海外)157句(56人) ジュニアの部3,143句(2,008人)	100																									
当日投句会	11月29日(日)	コミネス小ホール	投句受付 10:00~12:00 披講・選評 13:45~15:15 投句者 66人	100																									

III-4

事業名	まちラボ学生プロジェクト支援事業		決算額	124 千円
			所管課	企画政策課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般
				124 千円
[主な事業内容と成果] 本市には大学がなく、大学生と地域の接点が少ないことから、若者の視点がまちづくりに活かされにくいという課題がある一方、歴史、文化、まちなみ、農業、食などの地域資源が豊富に存在することから、大学ゼミの研究フィールドとして活用されている事例がある。 この強みを活かし、大学、短期大学、専門学校等のゼミやサークル、まちづくりに関心を持つグループ等による本市での研究や活動を促進させることにより、市内外の若者の交流や、若者の視点によるまちづくりを進めるとともに、白河のファンを増やすことができるよう、その活動等の経費の一部を支援した。				
○「素材広場・白河」ゼミ研究フィールド化事業 市内をフィールドに地域住民(高校生、町内会、NPO等)と交流を図りながら、研究等を行う。 〈活用実績〉 1 件 12 千円 (宇都宮大学:EMANONにおけるキャリア教育支援と関係人口創出に係る事例研究)				
○学生まちなか活動支援事業 白河市の中心市街地を活動拠点とし、市民活動団体と連携しながら研究等を行う。 〈活用実績〉 1 件 112 千円 (ShirakawaWeek実行委員会: 白河にゆかりを持つ大学生が、高校生とともに、まちなかに若者が集まるアイデアを議論し、本町にイルミネーションを制作)				



【高校生とともに制作したイルミネーション】

事業名	学生チャレンジショップ		決算額	14 千円
			所管課	まちづくり推進課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般 14 千円
【主な事業内容と成果】 高校生の就業体験の促進を図り、将来を担う人材を育成するとともに、中心市街地に新たな賑わいを創出するため、マイタウン白河で地元高校生が店舗経営の実践を行う「学生チャレンジショップ」を開催した。 (令和2年度実績) 日 時 令和2年11月27日(金) 売 上 (金額)32,300円、(売上個数)137個 販 売 商 品 農業科生産の鶏卵・花卉・野菜等  【白河実業高校農業科による農産物販売会の様子】 ※5月～11月までの月1回程度の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため1回のみ開催				

事業名	地域づくり活性化支援事業(白河地域)		決算額	706 千円
			所管課	生活防災課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	400 千円;一般 306 千円
[主な事業内容と成果]				
地域活力の向上を図るため、地域特性を活かした市民の自発的な取組みで、独自性のある事業に対し補助金を交付した。 白河地域活性化協議会において審査会を開催し、3団体に対して706千円の補助金を交付した。				
(単位:千円)				
地域	事業名	団体名	補助金	
白河地域	五箇地区6次化商品開発推進事業	住みよい五箇をつくる会	400	
	しらかわレクリエーションセミナー2020	しらかわレクリエーション協会	56	
	五箇音頭再生プロジェクト	五箇音頭再生プロジェクト実行委員会	250	
合 計			706	

事業名	地域づくり活性化支援事業(表郷地域)		決算額	844 千円	
			所管課	地域振興課(表郷)	
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	800 千円;一般	44 千円
[主な事業内容と成果]					
地域活力の向上を図るため、地域特性を生かした市民の自発的な取組みで、独自性のある事業に対し補助金を交付した。表郷地域活性化協議会において審査会を開催し、4団体に対して844千円の補助金を交付した。					
(単位:千円)					
地域	事業名		団体名		補助金
表郷地域	日本の風物詩、かかして地域活性化！事業		特定非営利活動法人 表郷ボランティアネットワーク		150
	天狗山を拠点とした地域づくり事業		おもてごう里山クラブ		394
	河東田花見山憩いの公園づくり事業		河東田花見山会		200
	白棚線沿線に彼岸花を植えよう！事業		表郷環境ネットワーク		100
合 計					844

事業名	地域づくり活性化支援事業(大信地域)		決算額	324 千円	
			所管課	地域振興課(大信)	
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	300 千円;一般	24 千円
[主な事業内容と成果]					
地域活力の向上を図るため、地域特性を生かした市民の自発的な取組みで、独自性のある事業に対し補助金を交付した。大信地域活性化協議会において審査会を開催し、1団体に対して324千円の補助金を交付した。					
(単位:千円)					
地域	事業名		団体名		補助金
大信地域	聖ヶ岩ふるさとの森「ホタル」再生事業		聖ヶ岩ふるさとの森を守る会		324
合 計					324

事業名	農業用施設整備”結”支援事業		決算額	45,024 千円
			所管課	農林整備課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	30,000 千円;一般 15,024 千円
[主な事業内容と成果] 農業用施設の修繕など、市民協働活動の一環として実施する農業用施設の保全活動を支援するため、要望のあった52町内会に対しU字溝等の原材料を支給したほか、事業にかかる機械の借上支援を行った。 ○実施町内会 52町内会 原材料支給額 41,867千円、機械賃借料3,157千円  【U字溝布設状況】				

事業名	資源回収奨励金助成事業			決算額	1,668 千円
				所管課	環境保全課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	1,668 千円
[主な事業内容と成果]					
廃棄物の再生利用促進及び廃棄物の減量化並びに廃棄物処理施設の延命化を図るため、廃棄物の資源回収を行う団体に対して奨励金を交付した。					
交付要件: 市内に住所を有する町内会、保健委員会、子ども会、青年会、婦人会、老人会、PTA、ボランティア団体等で、年度毎に団体登録の届出をしている団体。					
〈資源回収奨励金交付状況〉 (単位:件、千円)					
登録団体数		申請件数		交付金額	
104		510		1,668	
〈資源回収奨励金補助対象内訳〉 (単位:kg)					
古 紙		金 属 類		びん類	
473,498		73,724		8,640	
				合 計	
				555,862	

事業名	まちづくり・ひとづくり事業		決算額	7,560 千円
			所管課	企画政策課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般
				7,560 千円
【主な事業内容と成果】 将来を担う若者の考えや感性を積極的に地域づくりに取り入れるため、高校生をはじめとした多くの若者が集える場「コミュニティ・スペース」の運営を行った。 ○コミュニティ・スペース運営委託料 7,560千円 (委託先:一般社団法人 未来の準備室) ＜地域探究活動支援＞ 地域探究活動を行う高校生と、地域内の人材や専門家とのマッチングを実施するとともに、近隣高校の地域探究授業を支援した。また、高校生の「観光甲子園」や「国立青少年教育振興機構 探究アワード」等への参加を支援した。 ＜学習・キャリア形成支援＞ 高校生等の進路相談に応じるとともに、イベントを通じて、多様なキャリアを持つ方や、地元に着し地域を盛り上げる方、白河にゆかりのある大学生等と交流する機会を創出した。 ＜各種イベントの開催＞ コミュニティ・スペースを活用し、若者や地域人材の交流を創出した。 ・オンライン自習室 ・地域住民との協働イベント(ワークショップ、alt_cafe等) 他				
				
			【「観光甲子園」決勝に出場の白河高校チーム】 (決勝での発表に向けてプレゼン動画撮影)	

事業名	地域おこし協力隊活用事業		決算額	8,811 千円
			所管課	企画政策課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般
				8,811 千円
【主な事業内容と成果】 地域おこし協力隊は、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度であり、隊員が一定期間地域に居住しながら、地場商品の開発・PRや農林業への従事、住民生活の支援などの「地域協力活動」を行うことで、その地域への定住・定着も図る。 令和2年度は表郷地域、東地域で各1名の隊員が活動を行った。				
○会計年度任用職員賃金 4,412 千円 ○地域支援補助金 4,246 千円 ○その他経費 153 千円				
■ 表郷地域 飯塚俊輔氏 (H30.7.1～) 〔主な活動〕 ・情報発信(新聞、ブログ、ツイッター等) ・小中学校の学習支援(プログラミング体験等) ・飲食店紹介冊子等作製(表郷商工会共同事業) ・古閑裕而校歌調査 など			【プログラミング体験教室】	
■ 東地域 久野宏氏 (R2.4.1～) 〔主な活動〕 ・情報発信(ツイッター等) ・イベント「いなかラウンジ」の開催 ・移住・定住ポータルサイト制作支援 ・地域おこし協力隊との交流 など				
			【イベント「いなかラウンジ」】	

(再掲)

事業名	風月の芸術祭(福島ビエンナーレ2020)開催事業		決算額	3,000 千円
			所管課	文化振興課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般 3,000 千円

【主な事業内容と成果】

白河市の歴史や文化を基盤とした芸術作品の創作、鑑賞、体験等の機会を創出することで、市民が地域や文化芸術に対する関心を高め、地域に芳醇な文化を实らせるため芸術祭を開催し、併せてSNSを活用し全国に発信した。

○開催日 令和2年9月26日(土)～令和2年11月3日(火祝)

場 所	アーティスト	作 品
本町銀座商店街	荒井 経 ほかに10名	アーティストだるま
	市内高校生	だるま切絵フラッグ
小峰城跡	ヤノバケンジ×ダルライザー	コマライザー(造形物、AR)
旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷	福井利佐	だるま(切絵)
	千葉清藍	祈(書)
	俵典子	方丈記(絵画)
	小松美羽	山犬様(立体物)
コミュニティカフェ・EMANON	岩根愛	南湖の松(写真)
龍興寺	岡村桂三郎	地の魚(絵画)
常宣寺	金子富之	大舞虎(絵画)
白河ハリストス正教会	山下りん	イコン開示



【伊藤有孝・アーティストだるま】



【小松美羽・山犬様相思相愛】

(再掲)

事業名	市民オーケストラ設立準備事業		決算額	7,696 千円	
			所管課	文化振興課	
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	5,000 千円;一般	2,696 千円

【主な事業内容と成果】

令和3年度市民オーケストラの設立を目指すにあたり、その前身となるオーケストラを組織し、子供から大人までが参加し市民レベルでの音楽を通じた地域コミュニティの活性化を図った。また「しらかわ音楽の祭典第1部」で演奏を披露した。なお、大型楽器は、(株)NTTドコモ「東北応援社員募金」自治体寄付により購入し、市民オーケストラの活動の自主性・自立性の向上を図った。

○しらかわ音楽の祭典第1部

月 日 令和2年11月7日(土)

会 場 白河文化交流館コミネス大ホール

曲 目 チャイコフスキー 交響曲第5番

指揮・指導 大竹 晃司

【しらかわ音楽の祭典第1部】



○参加者構成表

	弦楽器	木管楽器	金管楽器	打楽器	合計
一般	23人	14人	10人	1人	48人
小中学生	37人	2人	2人	-	41人

○楽器購入

楽器名	数量	楽器名	数量
ティンパニー	4台	コンサートスネアドラム	1台
コンサートバスドラム	1台	銅鑼	1台
コンサートシロホン	1台	オーケストラチャイム	1台
グロッケンシュピール	1台	タンバリン ほか	
コンサートシンバル	3組	合 計	5,018千円

事業名	ふるさと納税関係事務			決算額	20,215 千円
				所管課	企画政策課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	20,215 千円

【主な事業内容と成果】

本市では、「ふるさとしらかわガンバレ寄附金」として、下記の応援メニューに沿って寄附を受け付け、返礼品として、地場産品や公式キャラクター商品等を贈呈している。

また、市を広くPRするため、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」運営事業者主催の「チョイスアワード」に参加し、「しらかわ」と連携したふるさと納税の取り組みが好評を受け、事業者部門の最終選考にノミネートされた。さらに「楽天ふるさと納税」とタイアップし、小峰城の石垣復旧や石城主プロジェクトの取り組みをドキュメンタリー動画で紹介した。

○ ふるさと納税寄附者報償（返礼品）

9,367

千円

○ その他経費

10,848

千円

○ 寄附金実績

2,432 件

43,368 千円

〈寄附金実績内訳〉

(単位: 件、千円)

活用事業	件数	金額
小峰城清水門復元プロジェクト	996	17,732
本を心のオアシスにするまちづくり	316	5,560
未来のひとづくり応援事業	1,075	20,001
台風19号災害支援	45	75

楽天ふるさと納税

ふるさと納税ドキュメンタリー

共に築く 町のシンボル復興

福島県白河市







【小峰城の石垣修復作業の様子と修復完了後の様子】

III-5

事業名	若者居場所づくり事業 (自立支援事業一般管理事務)		決算額	3,000 千円
			所管課	社会福祉課
財源内訳	国県	2,000 千円;市債	千円;その他	千円;一般
				1,000 千円
【主な事業内容と成果】 ひきこもりやニートなど、他者とのコミュニケーションが苦手であったり、就労への意識が低かったりと、社会生活を営む上で困難を抱える若者に対し、社会と個人をつなぐ居場所を提供し就労や進学など社会的な自立に向けた各種プログラムを行った。(県2/3)				
＜事業概要＞ ○事業名: ○居場所名: ○開設場所: ○対象年齢: ○開設日時: ○利用料金: ○委託先: ○委託料: ○その他: 若者居場所づくり事業 (白河市ユースプレイス自立支援事業) ユースプレイス県南 白河市高山西162-36 概ね15歳～39歳 週3回(水、金、土曜日)、午後1時～5時 無料 アネシス学院株式会社 3,000千円(うち県補助2,000千円) 近隣町村は委託先と個別に契約 (西郷村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、 塙町、石川町) ○令和2年度実績 (1)利用者の登録状況 ○登録者数: うち白河市: ○年齢: うち白河市: (2)居場所の開設状況 ○開催回数: ○利用者数: (3)実施した主なプログラム 個別相談、参加者交流、コミュニケーションスキルアップ の企画、就労意欲を高めるプログラム、ボランティアなど				

事業名	ひきこもり自立支援事業		決算額	5,344 千円
			所管課	社会福祉課
財源内訳	国県	2,672 千円;市債	千円;その他	千円;一般 2,672 千円

[主な事業内容と成果]

ひきこもりに関する市の相談窓口を明確化するため、民間委託によるワンストップ窓口「白河市ひきこもり相談支援センターTUNAG～つなぐ～」を新たに開設し、チラシの全戸配布等の周知広報に努めながら、電話やメール、来所や訪問による相談支援を実施した。また、関係機関と横断的な連携を図ることにより、要支援者の掘り起こしや、相談者が抱える悩みや問題に応じた適切な支援機関への案内・誘導を行った。(国1/2)

<事業概要>

○相談窓口： 白河市ひきこもり相談支援センター
TUNAG～つなぐ～

○開設場所： 白河市中町18番地1
社会福祉法人優樹福祉会本部ビル3階

○対象年齢： 年齢制限なし

○開所日： 令和2年9月1日

○開設日時： 火曜日～土曜日(午前9時～午後6時)

○相談員： 2名体制(うち1名は有資格者)

○利用料金： 無料

○委託先： 社会福祉法人優樹福祉会

○事業費： 5,344千円
(うち委託料5,082千円、事務費262千円)

○令和2年度相談実績(9月～3月)

(1)相談件数： 延べ172件(月あたり24.5件)

(2)相談方法： 来所38件、電話73件、訪問11件、メール等50件

(3)相談者： 本人42件、家族76件、関係機関69件、ほか5件

(4)対象者： 相談があった対象者の属性(延べ件数)

年代	男性	女性	不明	合計
20歳未満	14	-	-	14
20～39歳	33	21	-	54
40歳～59歳	70	2	-	72
60歳以上	1	-	-	1
不明	4	3	9	7
計	122	26	9	148

事業名	地方バス路線維持対策事業		決算額	48,493 千円
			所管課	企画政策課
財源内訳	国県	1,470 千円;市債	千円;その他	千円;一般 47,023 千円

【主な事業内容と成果】

買い物、通院、通勤、通学など、市民の日常生活に必要な移動手段であるバス路線を確保し、まちづくり、市民の暮らし、広域的な交流を支えるため、運行経費の補助を行い、路線の維持に努めた。

〈地方バス路線維持対策事業費補助金〉

(単位:千円)

	分 類	補助金額
①	生活交通路線(1路線)	8,552
②	市町村生活交通路線(15路線)	39,941



【福島交通バス】

事業名	循環バス運行事業		決算額	20,867 千円	
			所管課	企画政策課	
財源内訳	国県	379 千円;市債	千円;その他	190 千円;一般	20,298 千円

[主な事業内容と成果]

公共施設、駅、病院、中心市街地、住宅団地、大型ショッピングセンターなどを結ぶ交通アクセスを確保し、交通弱者等の利便性の向上や地域間交通の円滑化を図ることを目的に、白河駅前を発着点として、公共施設等を巡回する2ルート(中循環・南循環)で運行した。

- 循環バス運行費補助金
- 20,331千円
- その他の経費
- 536千円



【市内循環バス・愛称「こみねっと」】

〈こみねっと(市内循環バス)利用状況〉

		中循環(JRバス関東)			南循環(福島交通)			合計		
		利用者数	運行便数	1便あたりの乗車人数	利用者数	運行便数	1便あたりの乗車人数	利用者数	運行便数	1便あたりの乗車人数
R2	4月	1,604人	146便	10.99人	1,198人	146便	8.21人	2,802人	292便	9.60人
	5月	1,377人	133便	10.35人	1,142人	133便	8.59人	2,519人	266便	9.47人
	6月	2,267人	152便	14.91人	1,842人	152便	12.12人	4,109人	304便	13.52人
	7月	1,884人	146便	12.90人	1,481人	146便	10.14人	3,365人	292便	11.52人
	8月	1,752人	145便	12.08人	1,449人	145便	9.99人	3,201人	290便	11.04人
	9月	2,226人	140便	15.90人	1,542人	140便	11.01人	3,768人	280便	13.46人
	10月	1,845人	157便	11.75人	1,434人	157便	9.13人	3,279人	314便	10.44人
	11月	1,476人	134便	11.01人	1,262人	134便	9.42人	2,738人	268便	10.22人
	12月	1,524人	140便	10.89人	1,372人	140便	9.80人	2,896人	280便	10.34人
R3	1月	1,193人	134便	8.90人	993人	134便	7.41人	2,186人	268便	8.16人
	2月	1,271人	134便	9.49人	1,108人	134便	8.27人	2,379人	268便	8.88人
	3月	1,726人	158便	10.92人	1,480人	158便	9.37人	3,206人	316便	10.15人
合 計		20,145人	1,719便		16,303人	1,719便		36,448人	3,438便	
平 均		1,679人		11.72人	1,359人		9.48人	3,037人		10.60人

〈歳 入〉

○令和2年度福島県市町村生活交通対策事業運行費補助金 379千円

○白河市生活交通バス回数券・定期券販売収入 127千円

・回数券18千円

1,000円×18セット

・定期券12千円

3,000円(一般・障がい者等・1箇月)×1枚＝3,000円

8,550円(一般・障がい者等・3箇月)×1枚＝8,550円

・年間定期券(サポートパス)97千円

19,500円×6枚＝117,000円-助成券使用20,000円＝97,000円

○車内広告料収入 63千円

事業名	大信地域自主運行バス事業		決算額	3,551 千円
			所管課	地域振興課(大信)
財源内訳	国県	126 千円;市債	千円;その他	229 千円;一般
				3,196 千円

[主な事業内容と成果]

市民の日常生活に必要な公共交通を提供するため、(株)桜交通にバスの運行業務を委託した。

- 自主運行バス委託料 3,080千円
- その他の経費 471千円

運行日	運行経路	
月～金 (通勤・通学バス)	①	老人福祉センター～光南高校前(1日2便)
	②	十王橋北～矢吹駅前(1日2便)
火・木(シャトルバス)	③	老人福祉センター～矢吹メガステージ(1日1往復)



【大信地域自主運行バス】

大信自主運行バスの利用状況

		通勤・通学バス (月～金)			買物用シャトルバス (火・木)			月別合計			1便当たりの 乗車人数
		利用者数	運行日数	運行便数	利用者数	運行日数	運行便数	利用者数	運行日数	運行便数	
R2	4月	18人	21日	84便	130人	9日	18便	148人	30日	102便	1.45人
	5月	7人	18日	72便	118人	7日	14便	125人	25日	86便	1.45人
	6月	71人	22日	88便	183人	9日	18便	254人	31日	106便	2.40人
	7月	63人	21日	84便	129人	8日	16便	192人	29日	100便	1.92人
	8月	41人	20日	80便	136人	8日	16便	177人	28日	96便	1.84人
	9月	57人	20日	80便	127人	8日	16便	184人	28日	96便	1.92人
	10月	87人	22日	88便	136人	9日	18便	223人	31日	106便	2.10人
	11月	61人	19日	76便	127人	7日	14便	188人	26日	90便	2.09人
R3	12月	64人	20日	80便	128人	8日	16便	192人	28日	96便	2.00人
	1月	67人	19日	76便	89人	8日	16便	156人	27日	92便	1.70人
	2月	67人	18日	72便	74人	6日	12便	141人	24日	84便	1.68人
合計		658人	243日	972便	1,494人	96日	192便	2,152人	339日	1,164便	1.85人

<歳入>

- 令和2年度福島県市町村生活交通対策事業運行補助金 126千円
- 運賃収入 205千円
- 白河市生活交通バス回数券販売収入 24千円(1,000円×24セット)

事業名	表郷地域巡回バス事業			決算額	2,312 千円
				所管課	地域振興課(表郷)
財源内訳	国県	1,679 千円;市債	千円;その他	21 千円;一般	612 千円

【主な事業内容と成果】

コミュニティバスとして、(有)パール交通観光に運行業務を委託した。
毎週月・水・金曜日とし、「小松・古関方面」及び「下羽原・社・犬神方面」の2系統でそれぞれ1日3便運行した。なお、令和2年9月末をもって運行を休止し、令和2年10月より予約型乗合タクシー実証実験に移行した。

○ 表郷地域巡回バス委託料 2,200千円 ○ その他の経費 112千円

〈表郷地域巡回バスの利用状況〉

	月別	利用者数	運行日数	運行便数	運行形態
R2	4月	66人	12日	72便	○コミュニティバス(有料バス)として運行 ※ふれあいバス提示で無料 委託先:(有)パール交通観光 R2.4月～9月(6か月間)
	5月	90人	11日	66便	
	6月	96人	13日	78便	
	7月	82人	13日	78便	
	8月	73人	12日	72便	
	9月	61人	12日	72便	
合計		468人	73日	438便	乗車率 1便あたり 1.07人

〈歳入〉

○ 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金) 1,679千円

○ 運賃収入 21千円



【表郷地域巡回バス】



【表郷地域巡回バス】

事業名	東地域巡回バス事業			決算額	1,593 千円																																						
				所管課	地域振興課(東)																																						
財源内訳	国県	752 千円;市債	千円;その他	8 千円;一般	833 千円																																						
【主な事業内容と成果】 コミュニティバスとして(有)東タクシーに運行業務を委託した。 毎週月・金曜日に「小野田方面」へ1日3便、「釜子方面」へ1日3便運行した。 なお、令和2年9月末をもって運行を休止し、令和2年10月より予約型乗合タクシー実証実験に移行した。 ○ 東地域巡回バス委託料 1,496千円 ○ その他の経費 97千円 東地域巡回バスの利用状況 <table><tr><th></th><th>月別</th><th>利用者数</th><th>運行日数</th><th>運行便数</th><th>運行形態</th></tr><tr><td rowspan="6">R2</td><td>4月</td><td>32人</td><td>8日</td><td>48便</td><td rowspan="6">○コミュニティバス(有料バス)として運行 ※ふれあいバス提示で無料 委託先:(有)東タクシー R2.4月～9月(6か月間)</td></tr><tr><td>5月</td><td>17人</td><td>8日</td><td>48便</td></tr><tr><td>6月</td><td>126人</td><td>9日</td><td>54便</td></tr><tr><td>7月</td><td>125人</td><td>8日</td><td>48便</td></tr><tr><td>8月</td><td>108人</td><td>8日</td><td>48便</td></tr><tr><td>9月</td><td>122人</td><td>7日</td><td>42便</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>530人</td><td>48日</td><td>288便</td><td>乗車率 1便あたり 1.84人</td></tr></table> 〈歳入〉 ○ 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金) 752千円 ○ 運賃収入 8千円  【東地域巡回バス】							月別	利用者数	運行日数	運行便数	運行形態	R2	4月	32人	8日	48便	○コミュニティバス(有料バス)として運行 ※ふれあいバス提示で無料 委託先:(有)東タクシー R2.4月～9月(6か月間)	5月	17人	8日	48便	6月	126人	9日	54便	7月	125人	8日	48便	8月	108人	8日	48便	9月	122人	7日	42便	合 計		530人	48日	288便	乗車率 1便あたり 1.84人
	月別	利用者数	運行日数	運行便数	運行形態																																						
R2	4月	32人	8日	48便	○コミュニティバス(有料バス)として運行 ※ふれあいバス提示で無料 委託先:(有)東タクシー R2.4月～9月(6か月間)																																						
	5月	17人	8日	48便																																							
	6月	126人	9日	54便																																							
	7月	125人	8日	48便																																							
	8月	108人	8日	48便																																							
	9月	122人	7日	42便																																							
合 計		530人	48日	288便	乗車率 1便あたり 1.84人																																						



【東地域巡回バス】

事業名	予約型乗合タクシー実証実験			決算額	2,298 千円
				所管課	企画政策課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般	2,298 千円

[主な事業内容と成果]

予約型乗合タクシーを活用した既存路線バスへの結節や同地域の中心地に立地する公共施設、医療機関、金融機関等への移動需要などを確認し、地域の実情に沿った効果的な移動手段を検討するため、予約型乗合タクシーの実証実験を実施した。



【予約型乗合タクシー】

- 実証実験業務委託料 2,259千円
- 消耗品費 39千円

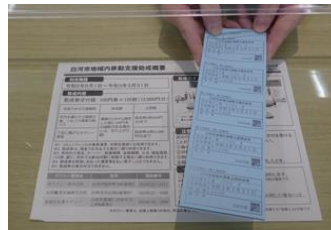
○実績

	大信地域			表郷及び旗宿地域			東地域		
	登録者数	延べ利用者数	運行便数	登録者数	延べ利用者数	運行便数	登録者数	延べ利用者数	運行便数
令和2年4月	16人	4人	2便						
5月	1人	3人	3便						
6月	12人	1人	1便						
7月	1人	3人	3便						
8月	-	6人	4便						
9月	-	4人	4便						
10月	2人	2人	2便	27人	3人	1便	18人	71人	18便
11月	-	2人	2便	1人	-	-	2人	68人	18便
12月	-	-	-	-	-	-	1人	65人	18便
令和3年1月	-	-	-	-	-	-	11人	56人	16便
2月	-	-	-	-	-	-	-	56人	23便
3月	-	-	-	-	-	-	-	62人	22便
合計	32人	25人	21便	28人	3人	1便	32人	378人	115便

○事業概要

対 象 地 域	大信地域	表郷及び旗宿地域	東地域
対 象 者	事前に利用登録された方		
利 用 料 金	500円(小学生、障がい者250円)、未就学児無料		
運 行 区 間	事前に登録を受けた自宅から指定目的地までの往復区間		
運 行 曜 日	火曜日及び木曜日	月曜日及び金曜日	月曜日及び金曜日
指 定 目 的 地	大信庁舎前バス停、 らくらく医院、 国井歯科医院	表郷庁舎前バス停、 ビーライフうおいち、 表郷公民館	バス停(刈敷坂、道山、幼稚園入口、大 師山、旧道入口、東庁舎前及び釜の子 本町)、 東風の台運動公園
運 行 事 業 者	白河観光交通株式会社	白河観光交通株式会社	有限会社東タクシー
運 行 期 間	令和2年4月1日～令和3年3月31日	令和2年10月1日～令和3年3月31日	令和2年10月1日～令和3年3月31日

事業名	地域内移動支援事業		決算額	8,715 千円
			所管課	企画政策課
財源内訳	国県	6,478 千円;市債	千円;その他	千円;一般
				2,237 千円
【主な事業内容と成果】				
高齢者又は障がい者で運転免許証の交付を現に受けていない者の日常生活を支える移動手段を支援するとともに、市内におけるバス及びタクシーの利用を推進するため、バス・タクシー助成券を交付した。				
○地域内移動支援助成金		8,062千円		
○印刷製本費		653千円		
事業期間 令和2年6月1日～令和3年3月31日				
申 者 者 1,485人				
交 付 枚 数 178,200枚				
利 用 枚 数 バス13,918枚、タクシー66,695枚 合計80,613枚				
				
【バス・タクシー助成券】				
○交付要件等				
対 象 者	市内に在住し、運転免許証を保有していない者で、次のいずれかに該当する方 (1) 令和2年度末において75歳以上の方 (2) 障がい者手帳の交付を受けている方			
対 象 経 費	市内の小売店、医療機関、公共施設、福祉施設、駅、バス停などに移動する場合に要するバス及びタクシー運賃			
助 成 額 等	(1) バス・タクシー共通助成券100円×120枚(1人12,000円分) (2) 1回の乗車につき運賃の2分の1を助成(バスが上限5枚、タクシーが上限10枚まで使用可能)			



【バス・タクシー助成券】

事業名	国際交流協会事業		決算額	2,045 千円	
			所管課	企画政策課	
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	232 千円;一般	1,813 千円

【主な事業内容と成果】

○白河市国際交流協会補助金 227千円

国際交流を通して豊かで文化的な生活の実現と地域の活性化に寄与するため、白河市国際交流協会へ補助金を交付した。

協会では、「やさしい英会話講座」や「フランス文化講座」を実施し、国際理解を深めた。

また、白河市における外国人住民の生活実態等とニーズを把握するため「白河市外国人住民アンケート調査」を行った。

〔白河市国際交流協会の主な事業〕

- ・やさしい英会話講座
- ・フランス文化講座
- ・白河市外国人住民アンケート調査

○国際交流基金積立金 5千円

○事務局職員人件費(会計年度任用職員1名分) 1,813千円



【やさしい英会話講座】



【やさしい英会話講座】

事業名	禁煙応援プロジェクト事業		決算額	36 千円								
			所管課	健康増進課								
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般								
				36 千円								
[主な事業内容と成果]												
受動喫煙による非喫煙者の健康被害を防止するため、健康教室の参加者に受動喫煙防止について周知を行った。喫煙している方のうち希望する方に、スパイロメーターによる「肺年齢」の測定を実施した。また、禁煙を希望する方を対象に3か月間の禁煙支援を実施した。												
<table><tr><th>種別</th><th>回数・参加状況</th></tr><tr><td>健康教室での受動喫煙防止の周知</td><td>4回</td></tr><tr><td>禁煙相談</td><td>6回</td></tr><tr><td>禁煙サポート事業</td><td>1人申し込み</td></tr></table>					種別	回数・参加状況	健康教室での受動喫煙防止の周知	4回	禁煙相談	6回	禁煙サポート事業	1人申し込み
種別	回数・参加状況											
健康教室での受動喫煙防止の周知	4回											
禁煙相談	6回											
禁煙サポート事業	1人申し込み											

事業名	スリムアッププロジェクト事業		決算額	200 千円
			所管課	健康増進課
財源内訳	国県	68 千円;市債	千円;その他	千円;一般
				132 千円
【主な事業内容と成果】 18歳～74歳でBMI24以上の方を対象に、3か月間で3kgのダイエットに挑戦するチャレンジャーを募集し、希望者には、体組成測定を実施し、その結果に基づいた栄養・運動の個別指導を実施することで、効率的に減量できるように支援した。 ○チャレンジャー人数 43人 ○3か月で3kgのダイエット成功者 20人 【募集チラシ】 				

事業名	へる塩プロジェクト事業		決算額	323 千円															
			所管課	健康増進課															
財源内訳	国県	103 千円;市債	千円;その他	千円;一般															
				220 千円															
【主な事業内容と成果】 高血圧などの生活習慣病の発症や重症化予防のため、血圧高値の方や小学6年生を対象に尿検査による1日塩分摂取量の測定をすることで、減塩についての意識向上に努めた。さらに、高血圧予防の健康講話や減塩指導を実施し、減塩の普及を図った。																			
<table><tr><th>種別</th><th>対象者</th><th>参加状況</th></tr><tr><td>医師による高血圧予防講話及び塩分摂取量測定</td><td>特定健診受診者で血圧高値の方</td><td>6回 95人</td></tr><tr><td>へる塩チャレンジ相談会</td><td>塩分摂取量10g以上の方</td><td>2回 35人</td></tr><tr><td>6年生における塩分摂取量測定</td><td>小学6年生</td><td>503人</td></tr><tr><td>減塩教育</td><td>みさか小・白河四小・表郷小の6年生・小田川小学校保健委員会</td><td>4回 216人</td></tr></table>					種別	対象者	参加状況	医師による高血圧予防講話及び塩分摂取量測定	特定健診受診者で血圧高値の方	6回 95人	へる塩チャレンジ相談会	塩分摂取量10g以上の方	2回 35人	6年生における塩分摂取量測定	小学6年生	503人	減塩教育	みさか小・白河四小・表郷小の6年生・小田川小学校保健委員会	4回 216人
種別	対象者	参加状況																	
医師による高血圧予防講話及び塩分摂取量測定	特定健診受診者で血圧高値の方	6回 95人																	
へる塩チャレンジ相談会	塩分摂取量10g以上の方	2回 35人																	
6年生における塩分摂取量測定	小学6年生	503人																	
減塩教育	みさか小・白河四小・表郷小の6年生・小田川小学校保健委員会	4回 216人																	
<table><tr><td rowspan="2">へる塩健康応援店の認定</td><td>減塩メニューの提供</td><td>4店舗</td></tr><tr><td>減塩食品の販売</td><td>33店舗</td></tr></table>					へる塩健康応援店の認定	減塩メニューの提供	4店舗	減塩食品の販売	33店舗										
へる塩健康応援店の認定	減塩メニューの提供	4店舗																	
	減塩食品の販売	33店舗																	

事業名	いきいき健康マイレージ事業			決算額	1,834 千円
				所管課	健康増進課
財源内訳	国県	284 千円;市債	千円;その他	1,303 千円;一般	247 千円

[主な事業内容と成果]

健康寿命の延伸をめざし、健診の受診や毎日の健康行動の実践などの様々な健康づくりの実践にポイントを付与し、たまったポイントに応じた特典(施設利用券と図書カード)が得られる仕組みを構築し、健康づくりに取り組む意欲の醸成と継続の支援を図った。さらに、ポイント交換回数や施設利用券が使える施設数を拡大することで参加者の増加を図った。

○参加者数 1,516人 (184人増加)

○ポイント交換者数 (単位:人)	
ポイント数	人 数
3,000	341
6,000	331
10,000	309
20,000	240
50,000ポイント以上	298
合 計	1,519

○ポイント交換内訳 (単位:枚)	
種 類	交換枚数
図書カード	1,343
(図書カードの寄付)	87
施設利用券	684
合 計	2,027

事業名	野菜で健康応援プロジェクト事業		決算額	1,163 千円
			所管課	健康増進課
財源内訳	国県	1,163 千円;市債	千円;その他	千円;一般
[主な事業内容と成果]				
カゴメ健康サポートプログラムにより、健康セミナーでの食リテラシーの向上、健康意識、食習慣、野菜不足の改善に向けて、生活習慣病予防及び重症化抑制を図った。				
○委託先:	カゴメ株式会社			
○内容:	①カゴメ株式会社管理栄養士によるオンライン健康セミナー ②手のひらで簡単に野菜摂取量を測定できるベジチェック®での測定			
○参加人数	1コース:延べ43人 2コース:延べ33人			
○成果	カゴメ健康サポートプログラムにより、健康セミナーでの食リテラシーの向上、ベジチェック®による野菜摂取レベル、推定野菜摂取量の見える化が出来て、参加者の食習慣の改善や野菜不足に関する行動変容ステージが改善し、行動を開始した人が増加した。			

事業名	健康診査事業		決算額	59,600 千円	
			所管課	健康増進課	
財源内訳	国県	2,876 千円;市債	千円;その他	千円;一般	56,724 千円
【主な事業内容と成果】					
市民の健康の保持増進を図るため、各種検診を実施した。受診率向上のため、乳がん・子宮がん・大腸がん・肺がん検診の特定年齢対象者への無料クーポン券配布事業の継続と全戸配布のパンフレットの作成、広報紙や市ホームページなどへの掲載等で受診勧奨を実施した。					
新型コロナウイルス感染症の影響により、健診日程の縮小、実施方法の変更を行い実施した。					
〈がん検診受診者数〉 (単位:人、%)					
区分	対象者	対象数	受診数	受診率	
胃がん	40歳以上	18,891	2,170	11.5	
肺がん(胸部)	40歳以上	18,891	4,092	21.7	
肺がん(喀痰)	40歳以上で半年以内に血痰あり、または50歳以上で喫煙指数600以上		121		
大腸がん	40歳以上	18,891	4,307	22.8	
前立腺がん	50から70歳の5歳刻み(男性)	2,092	177	8.5	
子宮頸がん	20歳以上の隔年(女性)	13,577	1,501	26.0(隔年)	
乳がん	40歳以上の隔年(女性)	11,604	1,461	26.9(隔年)	
骨粗鬆症	40から70歳の5歳刻み(女性)	2,850	527	18.5	
肝炎ウイルス	40から70歳の5歳刻み	5,845	510	8.7	

事業名	白河QOL向上プロジェクト事業		決算額	3,067 千円	
			所管課	健康増進課	
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	2,675 千円;一般	392 千円
[主な事業内容と成果]					
高齢者の健康状態やQOL(生活の質)の実態を調査し、分析することで、高齢者の健康課題の抽出と、その課題にあった保健指導方法の考案を行うため、高齢者の実態調査を開始した。					
(調査対象者)					
○白河市に住民登録のある60～75歳の方(要介護3以上除外)					
○基準日は令和2年7月1日現在					
○国民健康保険被保険者及び後期高齢者医療被保険者					
○今年度QOL向上プロジェクト事業に同意し、調査票の返却があったもの					
(調査票の発送と回収)					
○期間 令和2年10月～12月					
○発送数 8,093通					
○回収数 3,743通(回収率 46.25%)					
○有効回答数 3,638人 44.95%					
(分析及び今後の予定)					
○白河総合診療アカデミーと京都大学が共同で実施し、見えてきた課題について市民向けに発信、及び保健指導に活用していく。更に、同意が得られた方へは調査を継続していく。					

事業名	地域医療体制支援事業		決算額	22,400 千円
			所管課	健康増進課
財源内訳	国県	千円;市債	千円;その他	千円;一般
				22,400 千円
[主な事業内容と成果]				
救急医療・周産期医療・小児救急医療体制を確保し地域住民が安心できる医療を提供するため、県南地域の基幹病院である白河厚生総合病院に対し、白河市及び西白河郡4町村、那須町において助成を行う。白河厚生総合病院は、白河消防本部搬送の50%以上の救急患者受け入れをしている。さらに県南地域で唯一NICU(新生児集中治療室)を備えており、さらに周産期医療体制では専任医師や看護師を確保し、体制の充実を図っている。 平成22年度より10年間財政支援を実施してきた。令和2年度より、新たに助成金を見直すとともに令和4年までの3年間の継続した支援を行う。				
○助成額				
救急医療体制・周産期医療体制・小児医療体制・脳疾患医療体制の確保として、35,000千円を利用者割合で負担する。				
○負担金割合(利用者割合により算出)				
	負担金	割合	各市町村負担金	
白河市	35,000千円	64%	22,400千円	
西郷村		17%	5,950千円	
泉崎村		5%	1,750千円	
中島村		4%	1,400千円	
矢吹町		7%	2,450千円	
那須町		3%	1,050千円	
				
【白河厚生総合病院】				